

令和6年度

福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査業務報告書

(令和5年度実績)

令和7年3月

福 島 県

目次

第1章 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査の内容	1
1.3 各報告書の報告状況	2
1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理	3
1.5 調査に関する基本的な事項	5
第2章 調査結果の概略	8
2.1 令和5年度の産業廃棄物の排出状況	8
2.2 令和5年度の産業廃棄物の処理状況	11
2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況	14
2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況	15
2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果	16
第3章 産業廃棄物処理業者の実績	19
3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要	19
3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理	23
3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分	29
第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績	35
4.1 多量排出事業者等における報告状況	35
4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性	37
第5章 産業廃棄物の処理状況	40
5.1 再生利用の状況	40
5.2 最終処分の状況	43
第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析	46
6.1 データ整備等の内容	46
6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況	47
6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成	49
参考データ	
統計表1 業種別・種類別の排出量	51
統計表2 排出量及び処理量（種類別）	52
統計表3 排出量及び処理量（業種別）	54
統計表4 排出量及び処理量等の経年推移	56

第1章 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、令和5年度における県内の産業廃棄物の排出・処理等の実態を調査し、産業廃棄物の排出抑制及び適正処理の推進に資することを目的に実施した。

1.2 調査の内容

1 報告書データの電子化及びデータの整理

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する実績報告書（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の電子化を行った。

電子化されたデータの内容のチェック、各様式間における整合性のチェックを行い、記入不備等のデータの整備を行った。

2 産業廃棄物の物流情報の整理、分析

1.2.1 のデータを基に、福島県の産業廃棄物の排出及び処理情報（県外からの移入、県外への移出も含む）の整理、分析を行った。

3 産業廃棄物の排出・処理量の推計及び廃棄物処理計画の進行管理状況の分析

1.2.1 の結果等から、産業廃棄物の排出・処理量の推計を行うとともに、推計結果と福島県廃棄物処理計画（令和4年1月）で定めた目標値の達成状況やその分析を行い、計画の進捗状況のとりまとめを行った。

4 最終処分場残余年数の推定

1.2.1 のデータ及び過去の同データを基に、県内の最終処分場残余年数を推計した。

5 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の電子化及び集計解析

排出事業者から提出された産業廃棄物管理票交付等状況報告書及び電子マニフェスト登録等状況報告書を基に、排出事業者の台帳の作成及び廃棄物の排出・処理状況の集計・解析を行った。

6 資源化状況の解析

1.2.1 のデータを基に、廃棄物の種類ごとに資源化用途及び利用先業種(素材産業等)を整理し、資源化推進施策となる基礎情報を作成した。

7 「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」の更新等

1.2.1 のデータを基に、現行の「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」のデータを更新するとともに、1.2.2、1.2.3 の分析等がシステム上で行えるよう分析ツールを更新した。

1.3 各報告書の報告状況

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の報告状況は、表 1-1 のとおりである。

報告件数は、処分業者及び収集運搬業者が 3,360 件、排出事業者（多量（指定）排出事業者・施設設置事業者）が 457 件、鉱業事業者が 11 件となっており、報告率は全体で 80.1%となっている。

表 1-1 報告者属性別・所管別の報告数、報告状況

	処分業者及び 収集運搬業者		多量排出事業者等 ・施設設置者		鉱業事業者		計	
	調査 対象数	報告数	調査 対象数	報告数	調査 対象数	報告数	調査 対象数	報告数
福島県	4,094	3,252	329	311	11	9	4,434	3,572
福島市	4	3	51	36	0	0	55	39
郡山市	9	9	58	37	0	0	67	46
いわき市	122	96	98	73	3	2	223	171
計	4,229	3,360	536	457	14	11	4,779	3,828
(報告率)	79.5%		85.3%		78.6%		80.1%	

1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理

1 産業廃棄物処理業者の報告書の整理

(1) 物流情報の整理

提出された産業廃棄物処理業者の実績報告書の情報について、廃棄物の種類、量、委託者（排出事業者）及び所在地、処分業者名及び処分方法、処分先所在地等を整理した。

更に、排出事業者及び所在地と処分業者及び所在地の関係から、表 1-2 に示す物流コードに基づきとりまとめた。

なお、委託者の排出事業者と業者（中間処理残さ物を委託）の識別は、「委託者の名称と所在地」と「県内の中間処理業者と処理施設所在地」のマッチングにより行った。

表 1-2 物流フローの整理内容

情報ソース	流れ	処分区分	物流コード(委託者)			備考
			事業者	業者	自社	
処分業者の報告	県内→県内	中間	A	ア	サ	
	県内→県内	最終	B	イ	シ	
	県外→県内	中間	C	ウ		
	県外→県内	最終	D	エ		
収集運搬業者の報告	県内→県外	中間	E	カ	ソ	
	県内→県外	最終	F	キ	タ	
	県内→県内	中間	Q	R		A、アとの重複情報のため集計しない
	県内→県内	最終	S	T		B、イとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	中間	U	V		C、ウとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	最終	W	X		D、エとの重複情報のため集計しない

(2) 排出事業者の産業分類（業種）の整備

(1)の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

2 排出事業者の報告書の整備

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づく多量排出事業者の実績報告及び福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例（以下「適正化条例」という。）に基づく指定排出事業者の実績報告の情報は、事業者の業種、廃棄物の種類、量、処分方法等を整備した。

3 産業廃棄物の排出量・処理量の推計

産業廃棄物の発生量及び処理量は、排出事業者の自己処理量と委託処理量で構成される。

(1) 自己処理量

自己処理量は、自己で完結（委託されない）する中間処理及び売却、自社利用、自社埋立である。これらの処理を行う事業者の大部分は、廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者であると仮定すると、これらの事業者の実績データで推計することができる。

(2) 委託処理量

産業廃棄物処理業者の実績から把握した。排出事業者から排出された産業廃棄物のうち、県内での処理については、県内の中間処理業者及び最終処分業者の実績データを使用し、県外での処理については、収集運搬業者の実績データを使用した。

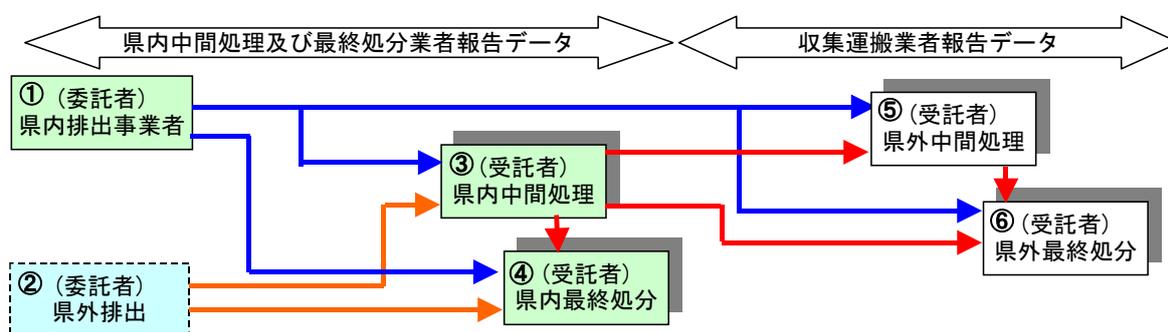


図 1-1 処分実績及び収集運搬実績データからの処理フロー作成概念図

また、上記の(1)と(2)の情報から十分に把握できない、鉱業からの汚泥（砂利等の採取事業所内で脱水処理され現場内再利用等が行われているもの等）についても調査を行い、情報を補完した。推計方法の概略は、図 1-2 のとおりである。

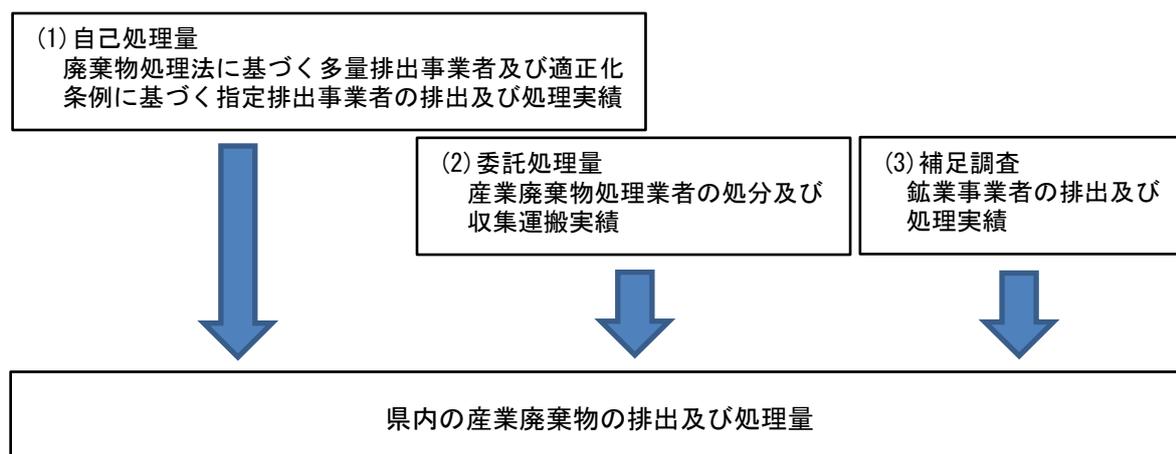


図 1-2 産業廃棄物の排出・処理量の推計方法の概略

なお、実績報告書の提出がない産業廃棄物処理業者及び排出事業者のデータについては、前年度実績や産業廃棄物管理票交付等状況報告書のデータを用いて推計した。

1.5 調査に関する基本的な事項

1 地区区分

本調査における本県の地区区分は、表 1-3 に示すとおりとした。

表 1-3 地区区分

	地区名	構成市町村
T1	県北地区	二本松市、伊達市、本宮市 伊達郡（桑折町、国見町、川俣町） 安達郡（大玉村）
T2	県中地区	須賀川市、田村市 岩瀬郡（鏡石町、天栄村） 石川郡（石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町） 田村郡（三春町、小野町）
T3	県南地区	白河市 西白河郡（西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町） 東白川郡（棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村）
T4	会津地区	会津若松市、喜多方市 耶麻郡（猪苗代町、北塩原村、西会津町、磐梯町） 河沼郡（会津坂下町、湯川村、柳津町） 大沼郡（会津美里町、三島町、金山町、昭和村）
T5	南会津地区	南会津郡（南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町）
T6	相双地区	相馬市、南相馬市 双葉郡（広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村） 相馬郡（新地町、飯舘村）
TA	郡山市	郡山市
TB	いわき市	いわき市
TC	福島市	福島市

2 調査対象産業廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に定める次の産業廃棄物とした。

①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑫ゴムくず、⑬金属くず、⑭ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕⑮銧さい、⑯がれき類、⑰ばいじん、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「13号廃棄物」と略した〕
※上記以外の種類に分類できない廃棄物は、「その他産業廃棄物」とした。

また、次に示す有価物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

ア 法令上廃棄物とならない有価物も今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、今回の調査対象に含めた。（例 金属スクラップ及び火力発電所から発生する脱硫石膏等）

有価物量は、多量排出事業者等から提出される実績報告書の有償物量の欄を計上している。

イ 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体については、原則として事業系一般廃棄物とし、産業廃棄物の集計から除外した。ただし、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずは、産業廃棄物として取り扱われるため、パレットに係る木くずはすべての業種で産業廃棄物として集計した。

ウ 酸性又はアルカリ性を呈する廃水を公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、当該廃水を除外し、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。

エ 廃棄物を自己焼却処理する場合は、燃え殻等の発生量ではなく焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

3 産業廃棄物の種類の区分

本調査では、中間処理の前後で廃棄物の種類が変化する場合、廃棄物の種類の後ろに処分時点又は再生利用時点とカッコ付きで表記した。

例 木くず→（焼却）→燃え殻（中間処理前の種類及び中間処理方法から推定）
（最終処分量の解析の際に、燃え殻（処分時点）と記載。）

4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（令和5年7月改定、総務省）に記載されている区分を基本にして、表1-4のとおりとした。なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表1-4 調査対象業種

日本標準産業分類		略称
A	農業，林業 農業 林業	農業・林業 農業 林業
B	漁業	漁業
C	鉱業，採石業，砂利採取業	鉱業
D	建設業	建設業
E	製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他製造業
F	電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業
G	情報通信業	情報通信業
H	運輸業，郵便業	運輸・郵便業
I	卸売業，小売業	卸・小売業
J	金融業，保険業	金融・保険業
K	不動産業，物品賃貸業	不動産業・物品賃貸業
L	学術研究，専門・技術サービス業	専門サービス業
M	宿泊業，飲食サービス業	宿泊業・飲食サービス業
N	生活関連サービス業，娯楽業	生活サービス業
O	教育，学習支援業	教育・学習支援業
P	医療，福祉	医療・福祉業
Q	複合サービス業	複合サービス業
R	サービス業	サービス業
S	公務	公務

第2章 調査結果の概略

2.1 令和5年度の産業廃棄物の排出状況

産業廃棄物の業種別、種類別の排出量は、図2-1、図2-2、表2-1のとおりである。

令和5年度における産業廃棄物の排出量6,958千トン（千t）を業種別にみると、電気・ガス・水道業が2,509千トンで最も多く、次いで、建設業が2,125千トン、製造業が1,927千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、汚泥が2,895千トンで最も多く、次いで、がれき類が1,369千トン、ばいじんが1,203千トンとなっている。

各産業廃棄物の主な排出元となる業種は、汚泥は製造業及び電気・ガス・水道業、がれき類は建設業、ばいじんは電気・ガス・水道業となっている。

平成25年度までは東日本大震災の復旧・復興工事による建設業の排出量が多かったが、それ以降は復旧・復興工事も少なくなり、令和元年度以降は、新型コロナウイルスの蔓延等による景気後退や水害・地震による工場の被災等が排出量に影響している。

令和5年度における排出量の減少は、経済指標等と概ね一致している（9ページ下段参照）。

製造業においては製造工業生産指数が3年ぶりに減少したが、汚泥を大量に発生する製紙業や化学工業の排出量が減少したため、排出量が減少している。

電気・ガス・水道業は、火力発電所の発電量が増加したため、排出量が増加している。

建設業は、復興事業や令和4年度の豪雨災害などの解体工事が減少したため、がれき類の排出量が大きく減少している。

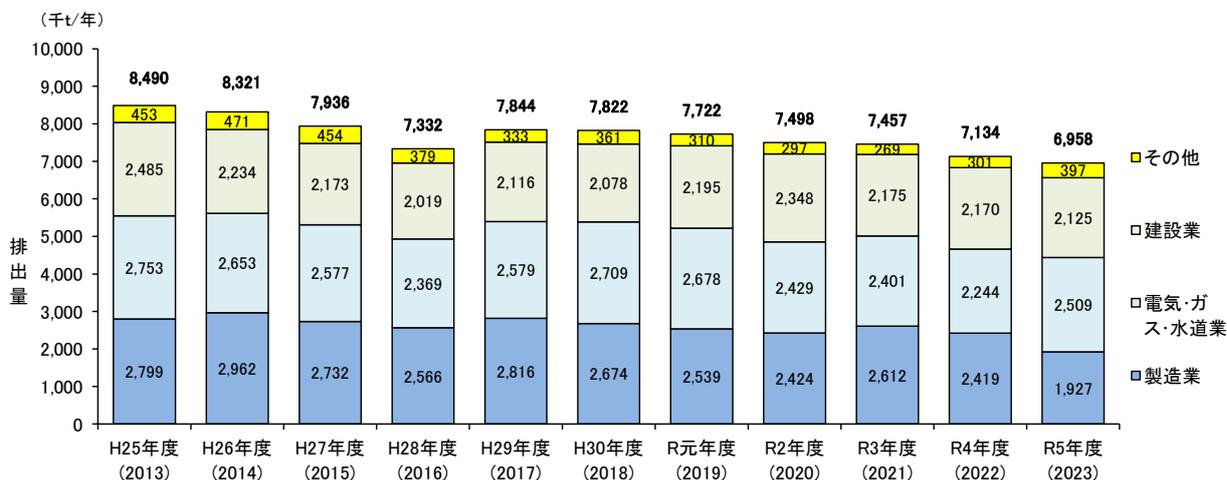


図2-1 産業廃棄物の業種別排出量の推移

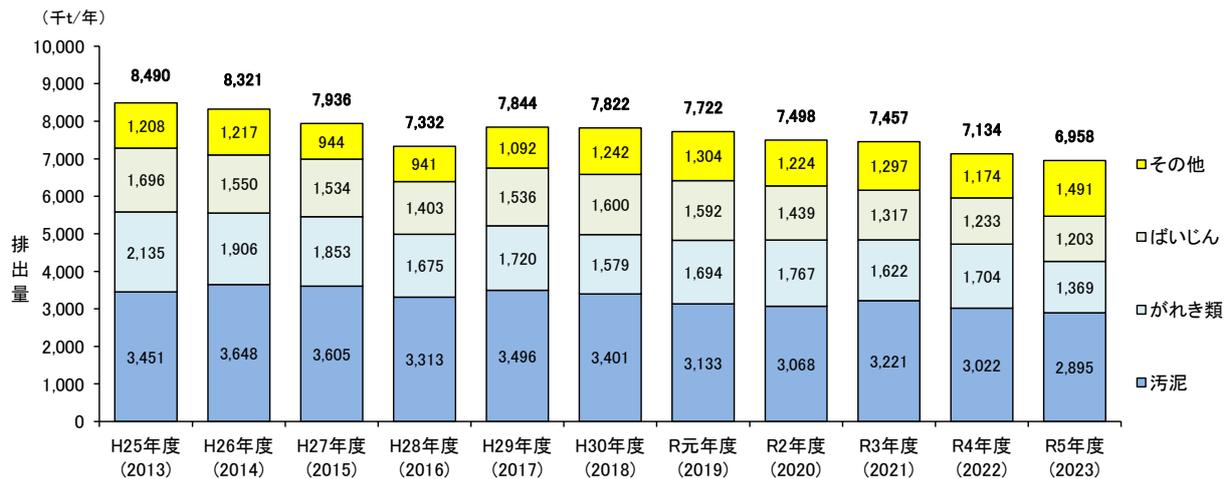


図 2-2 産業廃棄物の種類別排出量の推移

表 2-1 産業廃棄物の業種別・種類別の排出量

(単位: 千t/年)

業種 種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス 水道業	運輸業、 郵便業	卸売業・ 小売業	医療、 福祉業	サービ ス業	その 他の業種
合計	6,958 (100%)	168 (2%)	2,125 (31%)	1,927 (28%)	2,509 (36%)	8 (0%)	7 (0%)	9 (0%)	164 (2%)	41 (1%)
燃え殻	252 (4%)		26	15	208				2	2
汚泥	2895 (42%)	168	61	1506	1121	0	1	1	29	9
廃油	29 (0%)		1	16	0	0	0	0	10	1
廃酸	14 (0%)		1	9	0	0	0	0	2	1
廃アルカリ	82 (1%)		1	75	0	0	0	0	3	2
廃プラスチック類	244 (4%)	0	113	82	1	3	4	3	35	3
紙くず	7 (0%)	0	5	1	0	0	0	0	1	0
木くず	344 (5%)		289	7	0	2	0	0	40	6
繊維くず	4 (0%)		2	0	0	0	0	0	1	0
動植物性残さ	16 (0%)		3	9	1	0	0		2	1
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)		0	0					0	0
金属くず	27 (0%)		11	6	1	0	0	0	8	1
ガラス陶磁器くず	160 (2%)		92	51	0	0	0	0	15	2
鉱さい	102 (1%)		10	80	8				2	2
がれき類	1369 (20%)	0	1323	27	11	3	0	0	0	4
ばいじん	1203 (17%)		12	31	1159			0	1	1
動物のふん尿	7 (0%)									7
その他	204 (3%)		173	12	0	0	0	5	13	

注) 四捨五入を行っているため、合計と個々の計が一致しない場合がある。

表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は500t/年未満のもの。

種類の「その他」には、13号廃棄物、動物の死体、その他産業廃棄物を含む。以下の図表において同じ。

【参考：福島県の経済指標等】

業種	経済指標等	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	増減 (R5-R4)	出典等
製造業	製造工業生産指数 (R2=100)	104.1	104.1	103.8	-0.3	福島県統計課 「福島県鉱工業指数年報」
電気業	火力発電所の発電電 力量 (GWh)	47,432	42,188	45,458	+3,270	資源エネルギー庁 「電力調査統計」
建設業	除去建築物の床面積 (万 m ²)	35.5 35.0	43.1 41.2	31.6 33.5	-11.5 -7.7	国土交通省「建築物減失統計 調査」、上段は木造、下段は非 木造

産業廃棄物の地区別排出量は、図 2-3、表 2-2 のとおりである。

排出量を地区別にみると、いわき市が 2,638 千トンで最も多く、次いで、相双地区が 1,974 千トン、以下、郡山市が 595 千トン、県北地区が 511 千トン、福島市が 341 千トン、会津地区が 304 千トン、県南地区が 278 千トン、県中地区が 258 千トン、南会津地区が 58 千トンとなっている。

いわき市は、製紙業や化学工業の大規模工場があり、汚泥の排出量が多く、また、人口が多いため、下水処理場からの汚泥も多い。

相双地区は、石炭火力発電所から発生するばいじんと汚泥の排出量が多いが、発電量が増加しているため、昨年度よりも排出量が増加している。

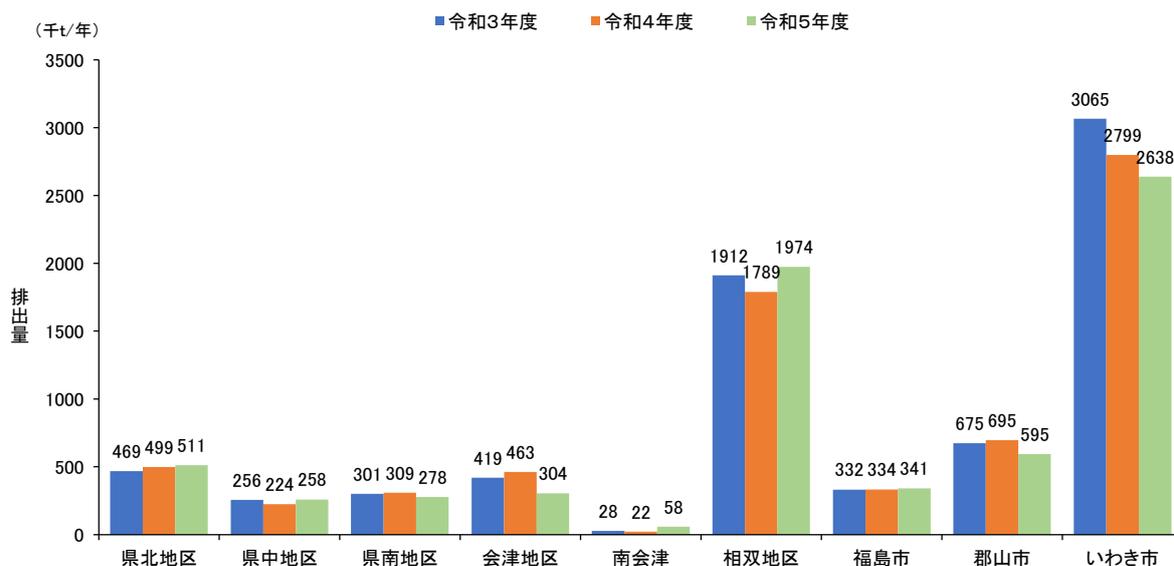


図 2-3 産業廃棄物の地区別排出量の推移

表 2-2 産業廃棄物の種類別・地区別排出量

業種 種類	(単位：千 t/年)									
	合計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
合計	6,958 (100%)	511 (7.3%)	258 (3.7%)	278 (4.0%)	304 (4.4%)	58 (0.8%)	1,974 (28.4%)	341 (4.9%)	595 (8.6%)	2,638 (37.9%)
燃え殻	252	0	1	1	7	0	210	1	0	30
汚泥	2,895	234	35	17	134	1	449	52	259	1,714
廃油	29	3	3	3	2	0	3	2	4	9
廃酸	14	1	1	1	2	0	2	1	2	5
廃アルカリ	82	3	1	3	3	0	18	24	5	26
廃プラスチック類	244	21	12	35	9	1	27	20	30	89
紙くず	7	0	0	1	0	0	1	1	1	2
木くず	344	22	61	28	25	5	38	23	31	112
繊維くず	4	0	0	0	0	0	1	1	0	1
動植物性残さ	16	2	1	2	1		0	4	5	0
動物系固形不要物										
ゴムくず	0		0					0	0	0
金属くず	27	5	4	2	1	0	3	2	5	5
ガラス陶磁器くず	160	13	14	9	11	3	25	13	33	38
鉱さい	102	41	15	17	2		8	10	2	6
がれき類	1,369	128	102	152	84	47	259	126	194	277
ばいじん	1,203	0	0	3	4	0	908		0	288
動物のふん尿	7	7								
その他	204	30	9	3	18	1	21	61	26	34

注) 種類の「その他」には、13号廃棄物、動物の死体、その他産業廃棄物を含む。

2.2 令和5年度の産業廃棄物の処理状況

令和5年度に発生した産業廃棄物の処理フローは、**図2-4**のとおりである。

排出量 6,958 千トンのうち、93%に当たる 6,456 千トン（中間処理量）が排出事業者又は産業廃棄物処理業者により脱水、焼却等の中間処理がされており、その結果、3,060 千トン（減量化量）が減量化されている。

中間処理後の再生利用量（3,252 千トン）と排出事業者等での直接再生利用量（15 千トン）を合わせた再生利用量は、排出量の 47%に当たる 3,267 千トンとなっている。

直接最終処分量と中間処理後の最終処分量を合わせた最終処分量は、排出量の 9%に当たる 630 千トンとなっている。

令和4年度と比較して、再生利用量は 359 千トンの減少（再生利用率は 4 ポイント減少）、最終処分量は 15 千トンの増加（最終処分率は同）となっている。

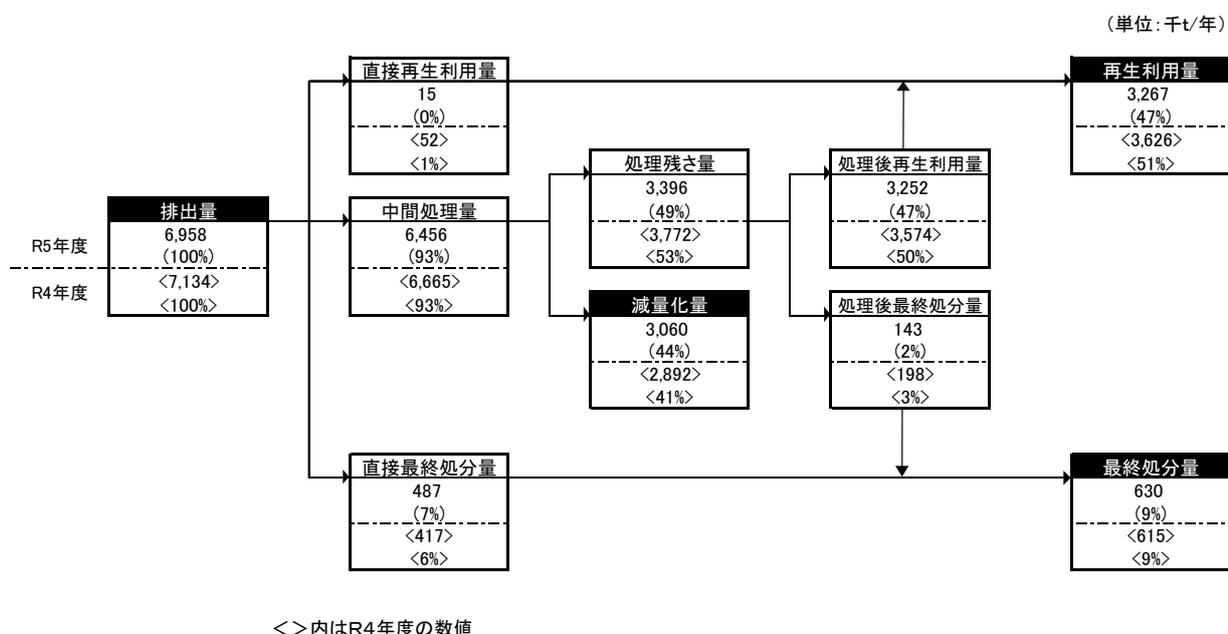


図2-4 産業廃棄物の処理フロー

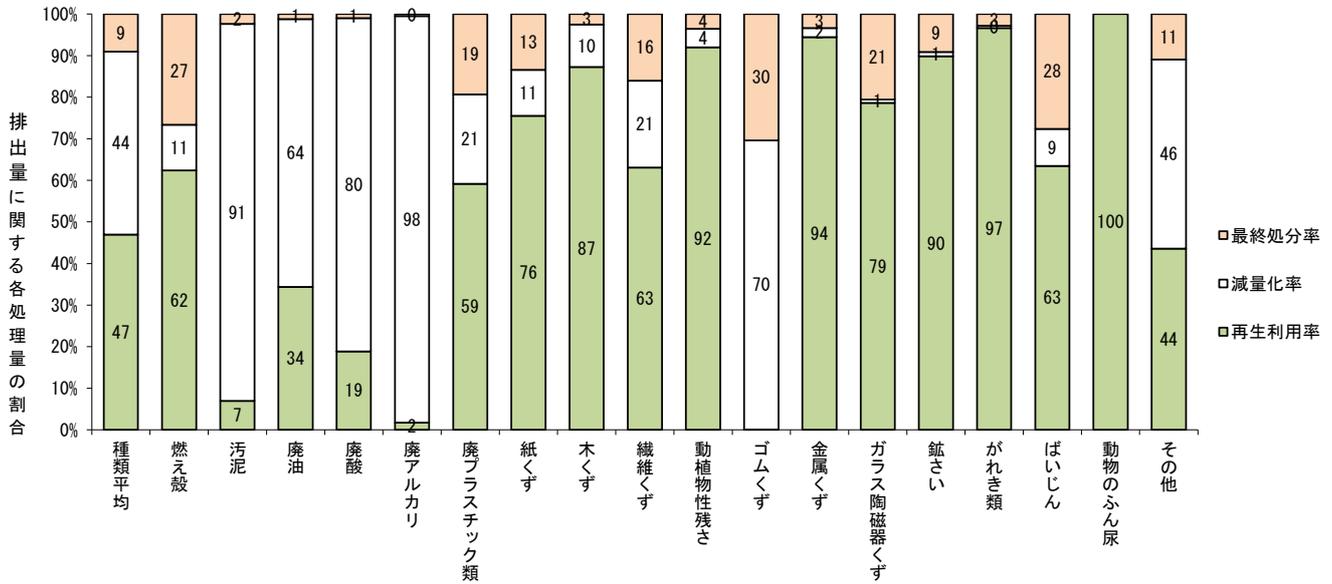
注1) ()内の数値は排出量に占める割合で、端数処理の関係により割合の合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

注2) 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、**図 2-5** のとおりである。

汚泥、廃酸、廃アルカリは減量化される割合が高く、動植物性残さ、金属くず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿は再生利用率が他の種類に比べ高くなっている。

一方で、燃え殻、ゴムくず、ばいじんは、最終処分量が他の種類に比べ高くなっている。



注) 図中の構成比 (%) の数値は、四捨五入しているため合計が 100%にならない場合がある。

「その他」には、13号廃棄物、動物の死体、その他産業廃棄物を含む。

図 2-5 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

なお、産業廃棄物の処理状況を詳細にみたフローは、**図 2-6** のとおりである。

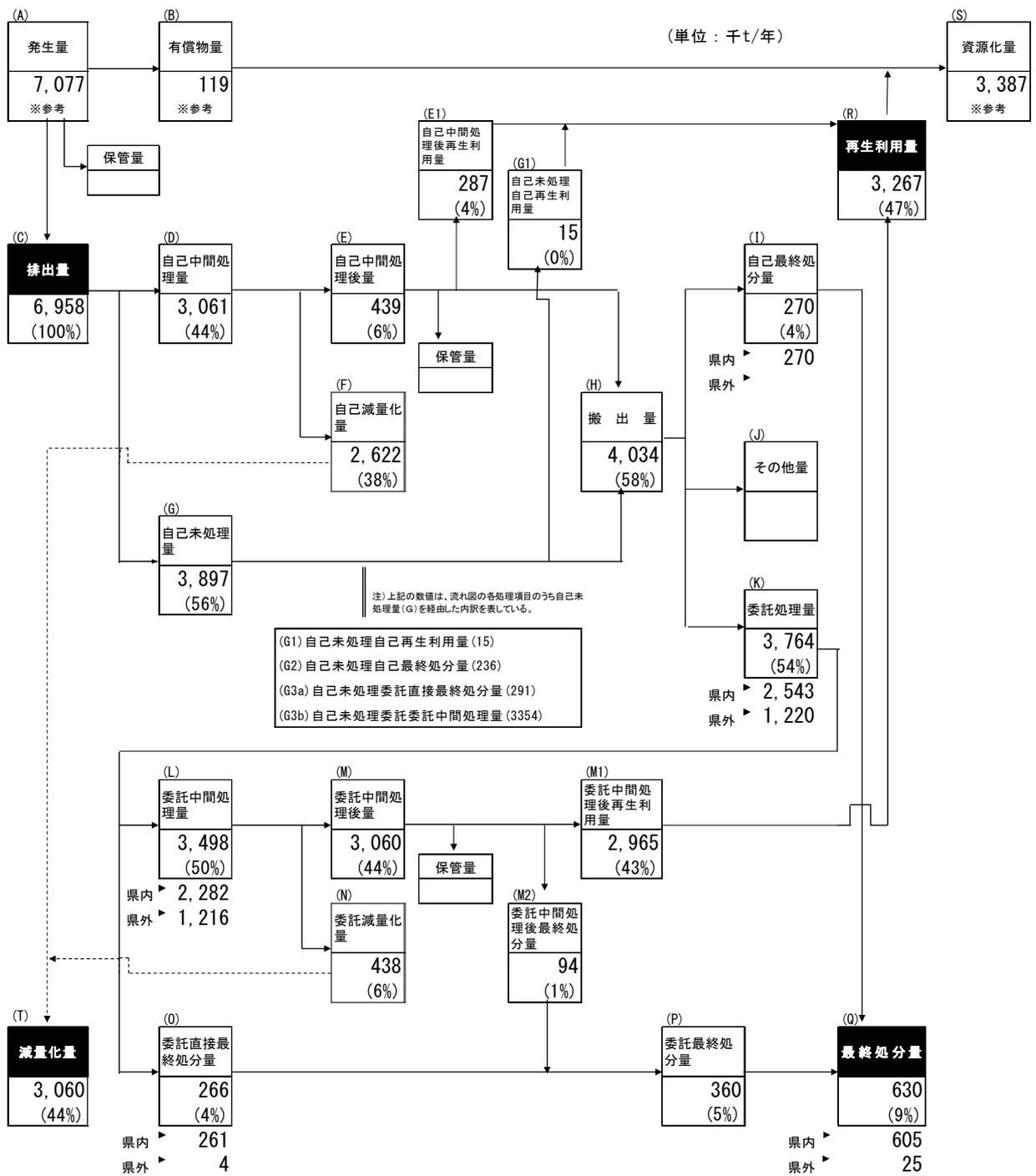


図 2-6 産業廃棄物の処理フロー (詳細)

2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況

福島県廃棄物処理計画（令和4年1月）では、令和8年度における目標値を「排出量（7,700千トン以下）」、「再生利用率（52%以上）」、「最終処分率（6%以下）」としており、福島県では達成状況の進行管理を行っている。

この目標値に対する実績値は、図2-7及び図2-8のとおりである。

令和5年度実績を目標値と比較すると、排出量（令和5年度:6,958千トン）の目標値は達成しているが、再生利用率（同:47%）と最終処分率（同:9%）については、目標値を達成していない。再生利用率が減少した要因としては、再生利用率の高いがれき類の排出量が減少したことによると考えられる。また、汚泥等の最終処分量は減少したが、燃え殻とばいじんの最終処分量が増加したため、最終処分率は前年度と同率となった。

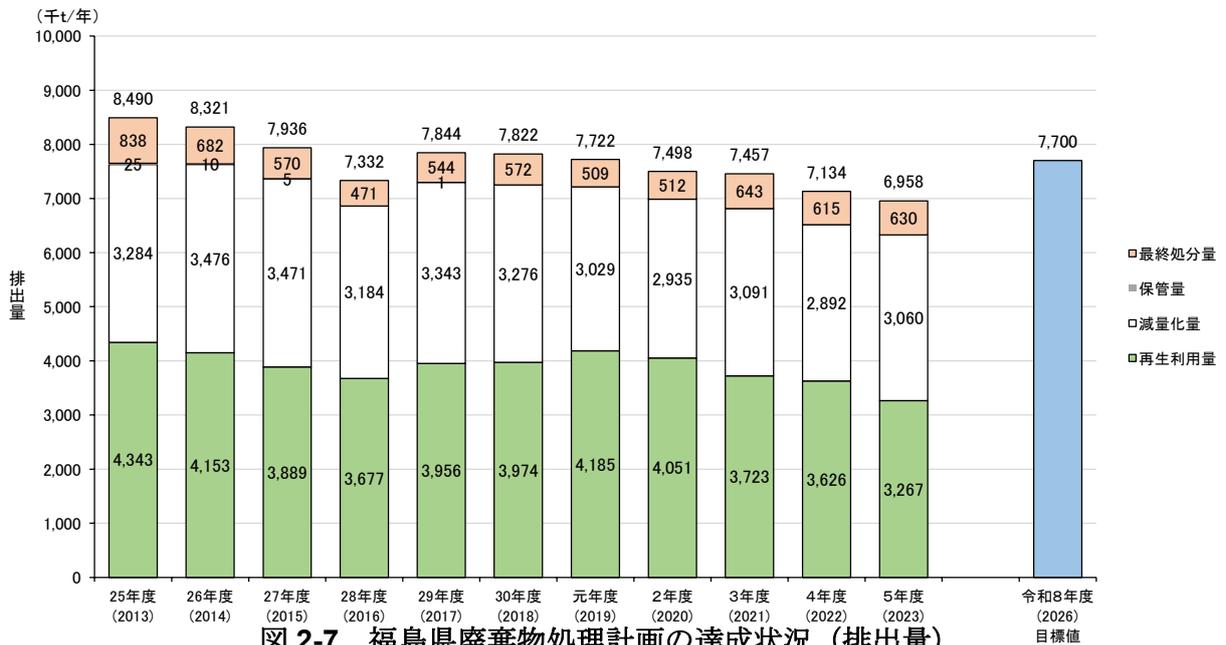


図 2-7 福島県廃棄物処理計画の達成状況（排出量）

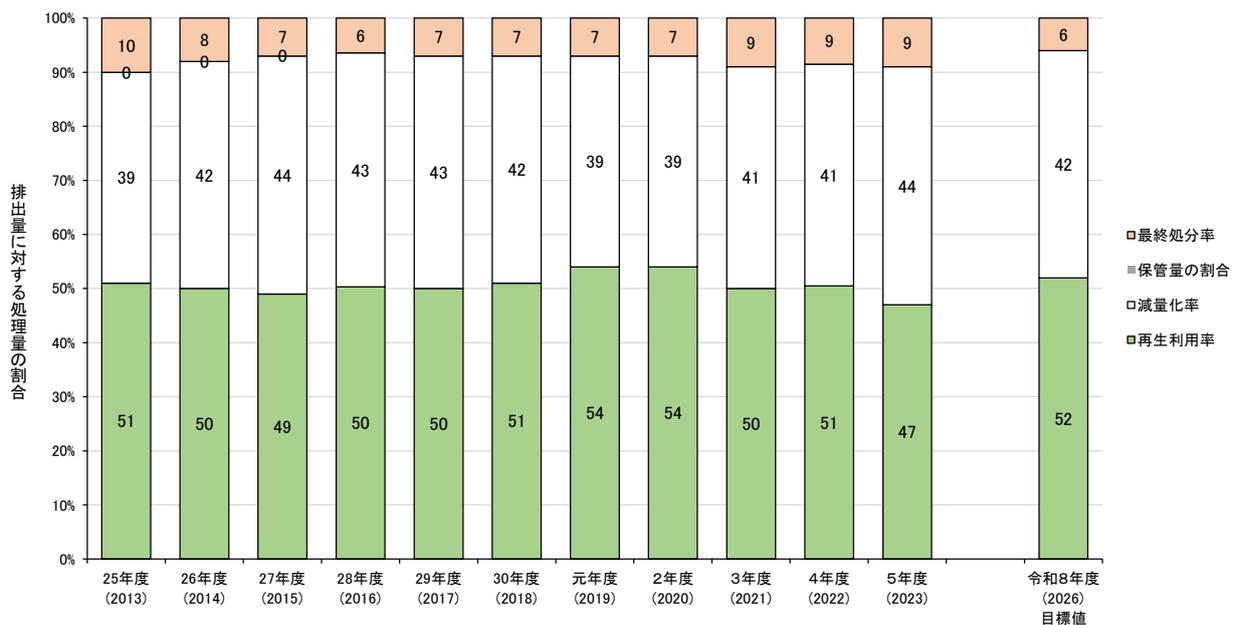


図 2-8 福島県廃棄物処理計画の達成状況（再生利用率・最終処分率）

2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況

令和 5 年度の県内の産業廃棄物処理業者による中間処理実績及び最終処分実績を地区別にみると図 2-9 及び図 2-10 のとおりである。

産業廃棄物処理業者の中間処理実績を地区別にみると、いわき市が多くなっている。

産業廃棄物処理業者の最終処分実績を地区別にみると、相双地区、いわき市、福島市が多くなっている。

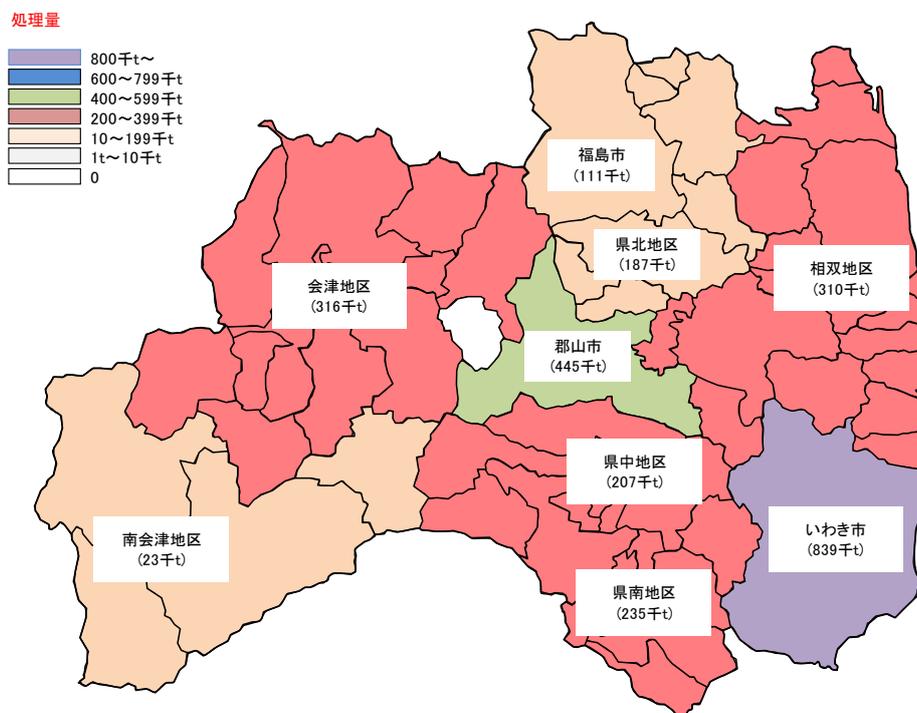
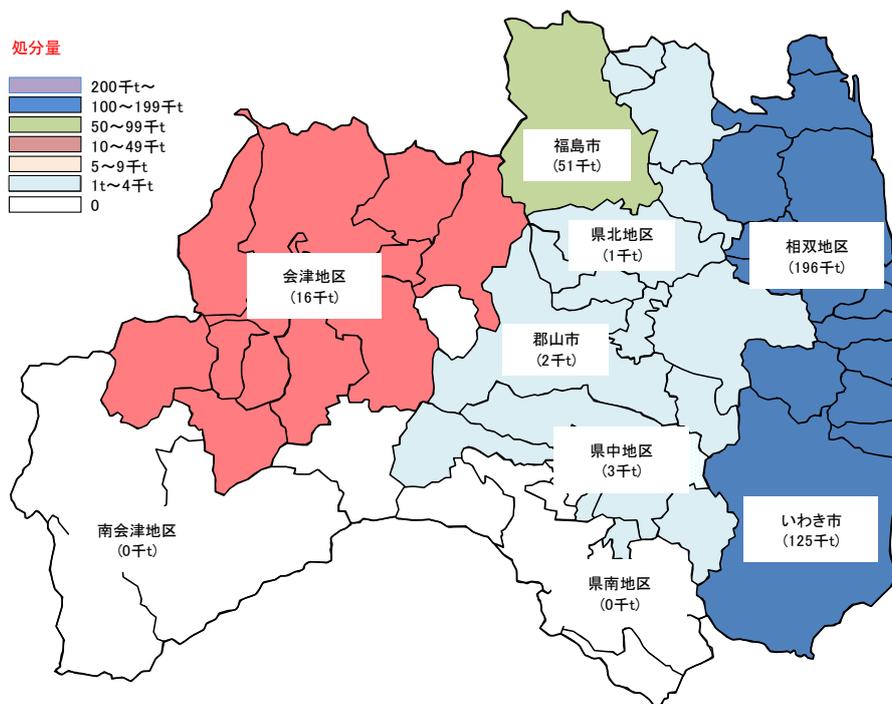


図 2-9 産業廃棄物処理業者の地区別中間処理実績



注) 県南地区と南会津地区には最終処分場がない

図 2-10 産業廃棄物処理業者の地区別最終処分実績

2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果

令和 5 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）等を基に、「福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム」に情報登録し、福島県をとりまく産業廃棄物の物流を整理した結果は、**図 2-11**、**図 2-12** のとおりである。

(1) 図 2-11、図 2-12 における各断面のデータについて

●赤枠処理項目

廃棄物処理法に基づく**多量排出事業者**及び適正化条例に基づく**指定排出事業者**より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者内で処理が完結している有償物量、自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量、保管量について、処理フローを作成した。

●青枠処理項目

福島県内（福島市、郡山市、いわき市含む）の**産業廃棄物処分業者**の処分実績から、処理フローを作成した。

●緑枠処理項目

福島県（福島市、郡山市、いわき市含む）許可を有する**産業廃棄物収集運搬業者**の運搬実績（県外への搬出分）から、処理フローを作成した。

(2) 図 2-11、図 2-12 の表示値について

図 2-11 は、**多量排出事業者**及び**指定排出事業者**、**産業廃棄物処分業者**、**収集運搬業者**の処理実績データを集計した。

図 2-12 は、図 2-11 のうち、排出事業者の業種が指定されている業種以外の事業所から発生した事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体）と災害廃棄物は除外した。

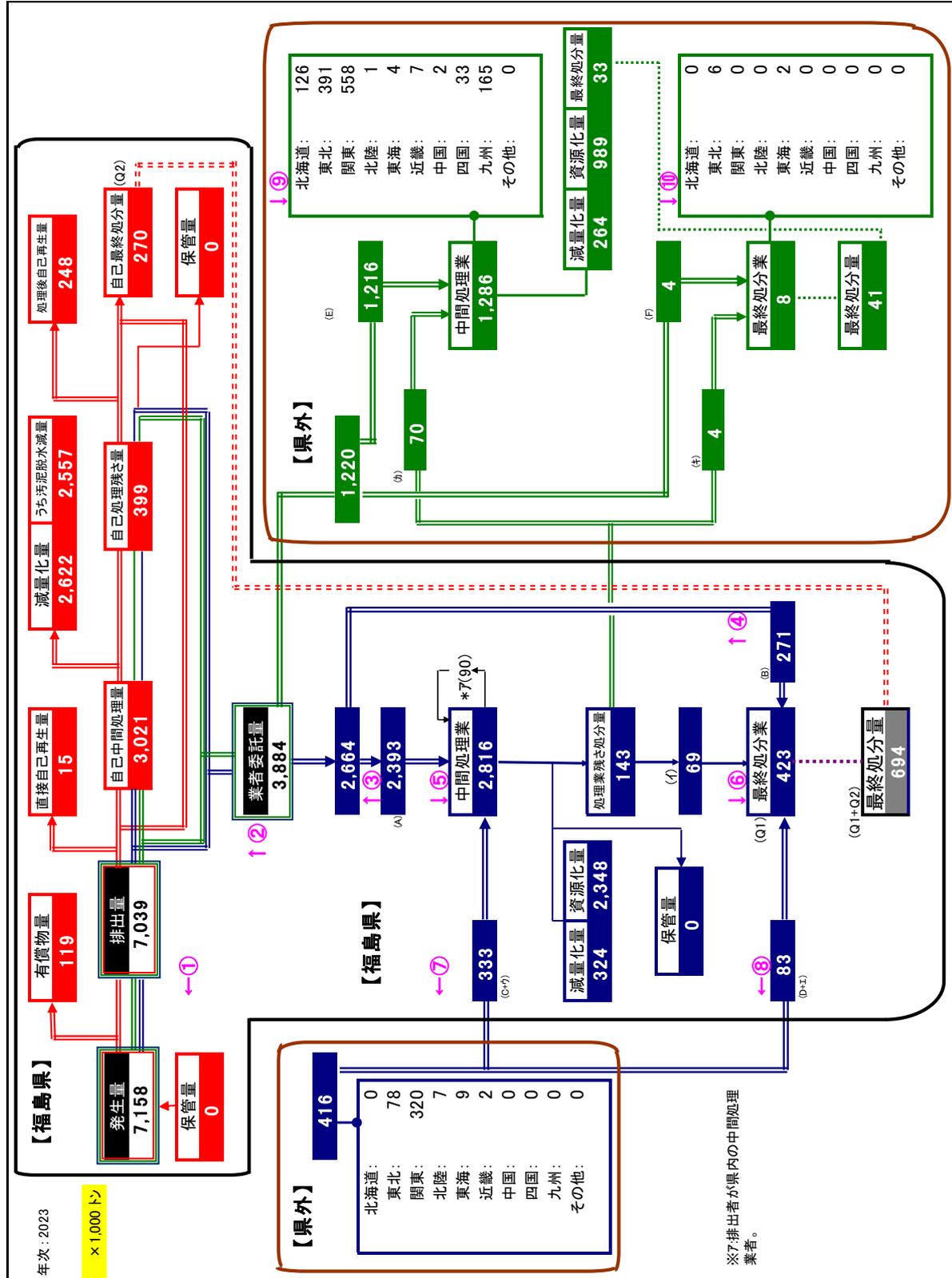


図2-11 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）＜事業系一般廃棄物・災害廃棄物を含む＞

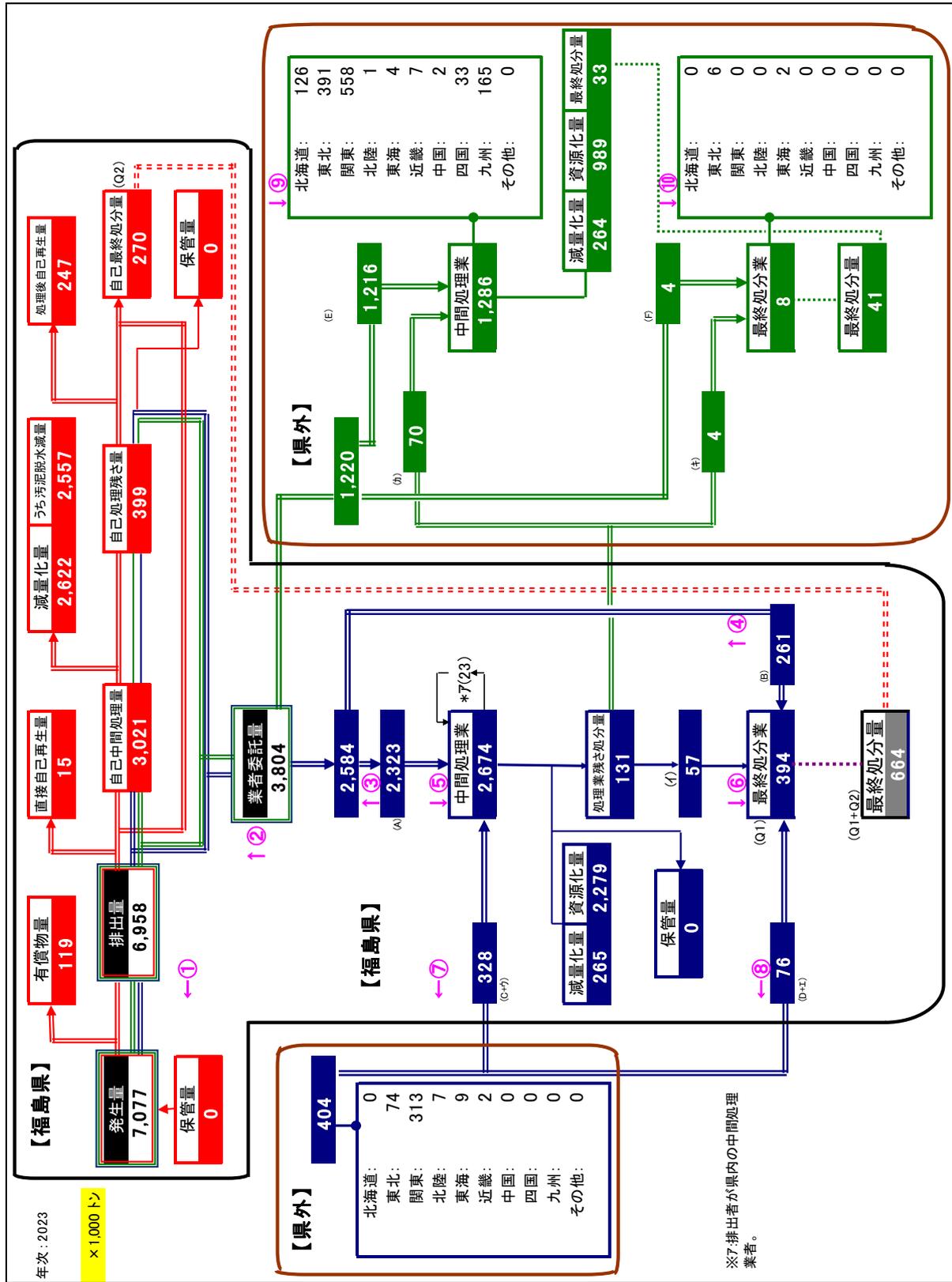


図2-12 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）<福島県産業廃棄物処理計画進行管理用>

第3章 産業廃棄物処理業者の実績

3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

令和5年度における産業廃棄物処理業者の処分実績の概要は、図3-1のとおりである。

県内での中間処理量は2,674千トンとなっており、このうち2,346千トンが県内の排出事業者等から搬入され、328千トンが県外から搬入されている。

県内の最終処分量は394千トンで、このうち318千トンが県内の排出事業者等から搬入され、76千トンが県外から搬入されている。

県外へ搬出された産業廃棄物は1,294千トンで、このうち中間処理のため排出されたものが1,286千トン、最終処分のために搬出されたものが8千トンとなっている。

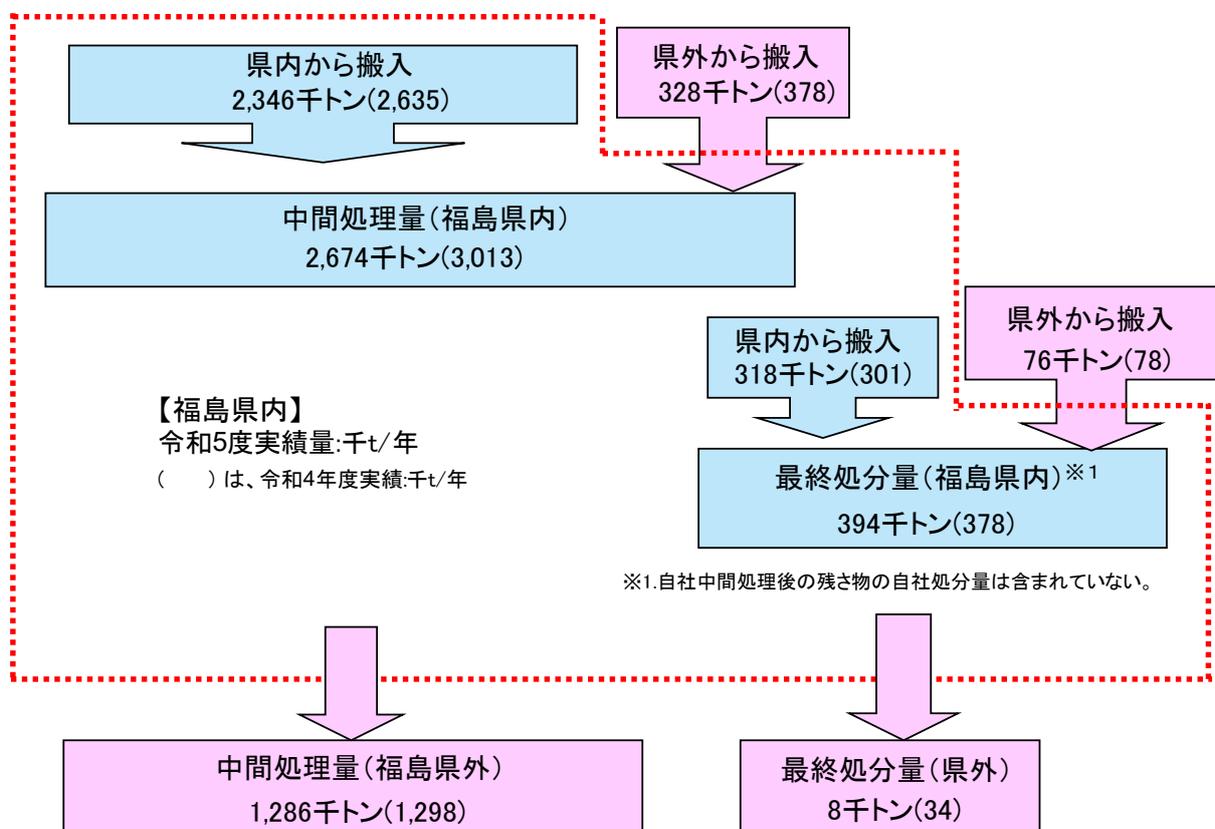
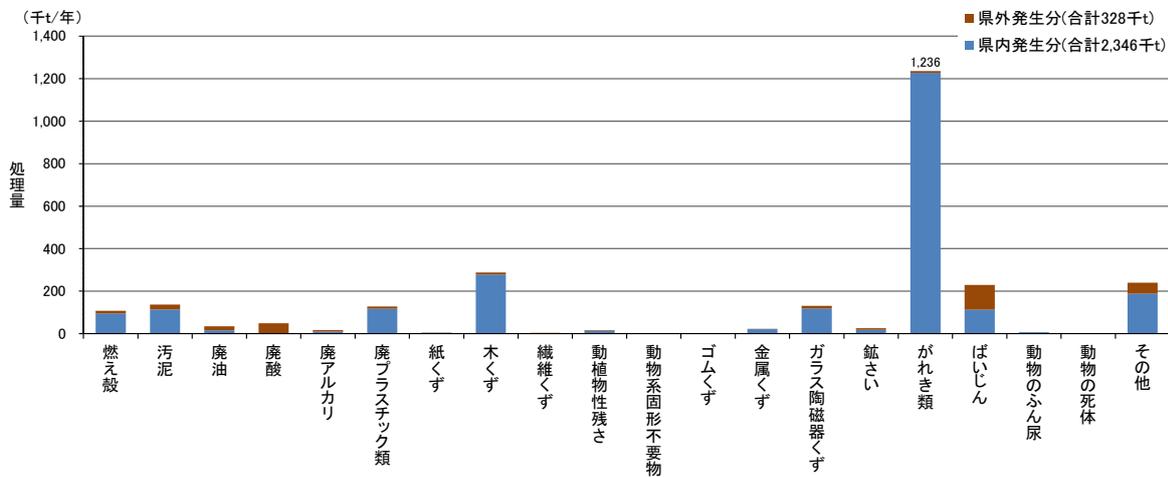


図3-1 産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

1 県内の中間処理業者の処分実績

中間処理業者の産業廃棄物の種類別の処理量をみると、**図 3-2** 及び**表 3-1** のとおりである。中間処理業者の処理量 **2,674** 千トンのうち、がれき類が最も多くなっており、全体の **46%** を占めている。



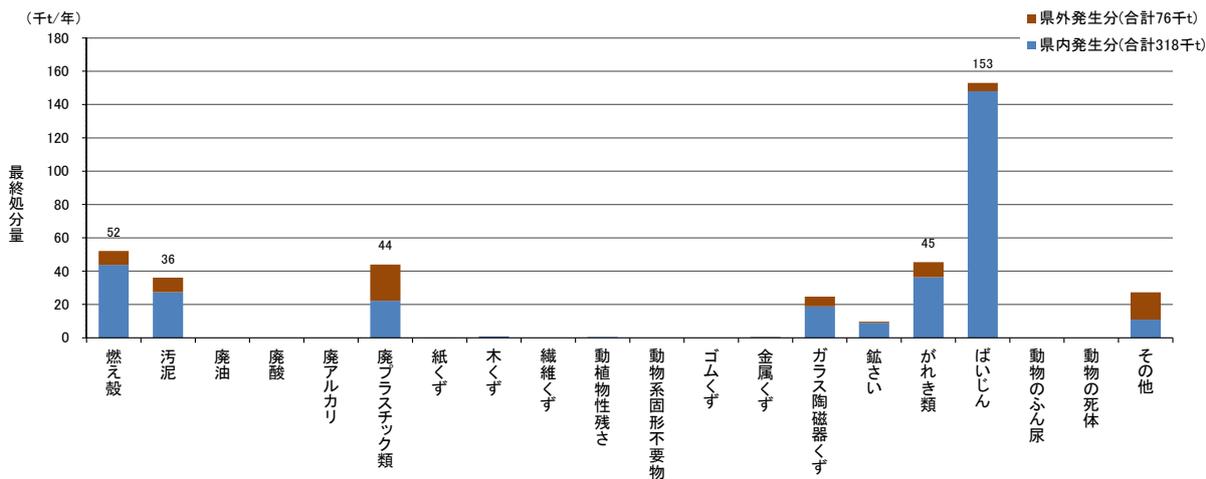
注)「その他」には、13号廃棄物、感染性廃棄物、混合廃棄物、その他産業廃棄物を含む。

図 3-2 県内の中間処理業者の種類別処分実績

2 県内の最終処分業者の処分実績

最終処分業者の最終処分量を産業廃棄物の種類別にみると、**図 3-3** 及び**表 3-1** のとおりである。

最終処分業者の最終処分量 **394** 千トンのうち、ばいじんが最も多く、以下、燃え殻、がれき類、廃プラスチック類、汚泥の順となっており、この **5** 種類で全体の **84%** を占めている。



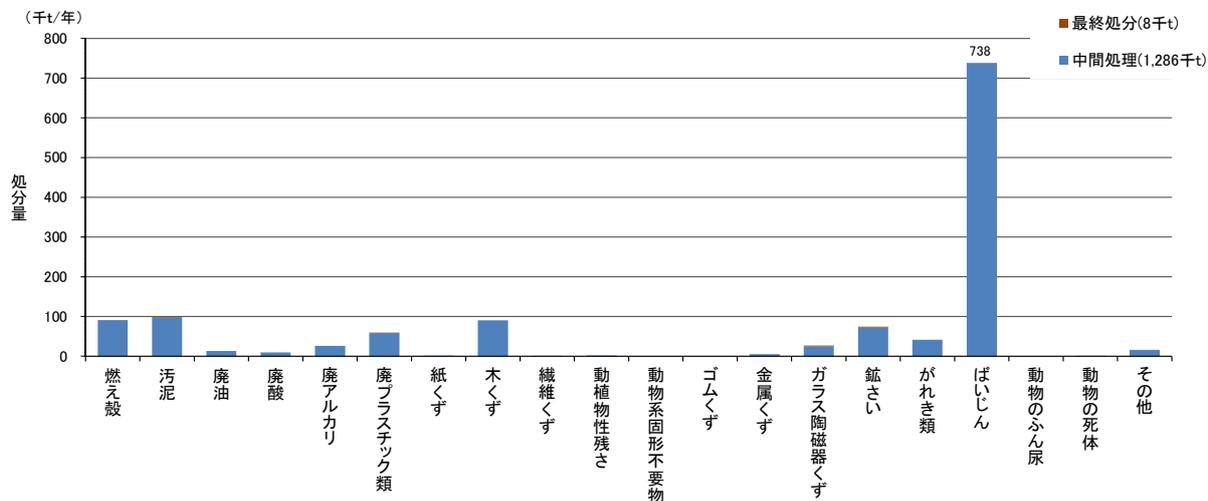
注)「その他」には、13号廃棄物、感染性廃棄物、混合廃棄物、その他産業廃棄物を含む。

図 3-3 県内の最終処分業者の種類別処分実績

3 県外へ搬出された産業廃棄物の処分実績（収集運搬者実績報告より）

県内へ搬出された産業廃棄物の処分量を種類別にみると図 3-4 及び表 3-1 のとおりである。

県外へ搬出された産業廃棄物 1,294 千トンのうち、ばいじんが全体の 57%を占めている。なお、県外へ搬出されたばいじんのほとんどはセメント原料などに再生利用されている。



注)「その他」には、13号廃棄物、感染性廃棄物、混合廃棄物、その他産業廃棄物を含む。

図 3-4 県外へ搬出された産業廃棄物の種類別処分実績

3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理

県内の中間処理施設で処理された実績量を処理地区別及び委託元である発生地区別にみると、**図 3-5**、**図 3-6** 及び**表 3-2**、**表 3-3** のとおりである。

県内の中間処理業者の中間処理量 2,674 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が 839 千トンで最も多く、以下、郡山市が 445 千トン、会津地区が 316 千トン、相双地区が 310 千トン、県南地区が 235 千トン、県中地区が 207 千トン、県北地区が 187 千トン等となっている。**(図 3-5、表 3-2)**

県内の中間処理施設で処理された実績量を委託元である発生地区別にみると、いわき市が 544 千トンで最も多く、以下、相双地区が 429 千トン、県外が 328 千トン、郡山市が 310 千トン、県南地区が 201 千トン、県北地区が 192 千トン、県中地区が 175 千トン等となっている。**(図 3-6、表 3-3)**

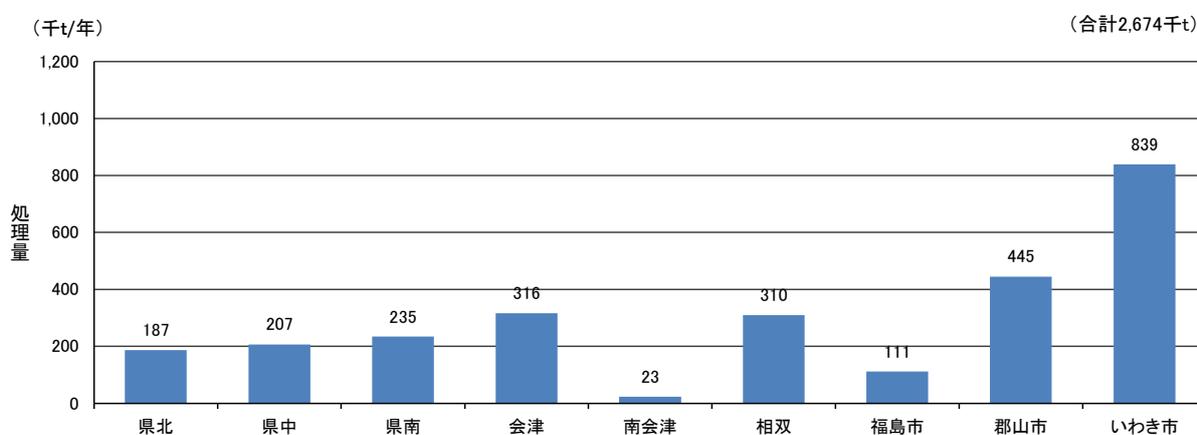
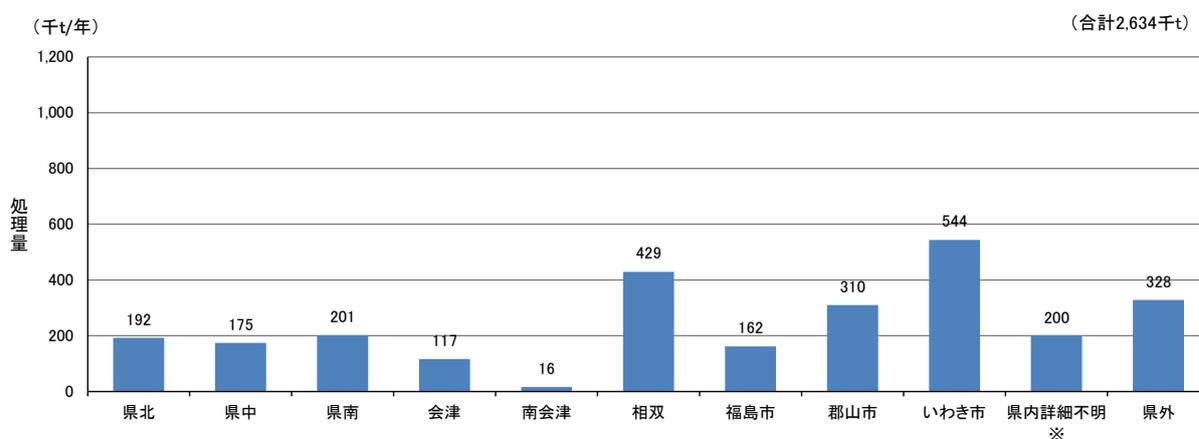


図 3-5 処理地区別の中間処理量



※ 県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの。

図 3-6 発生地区別の中間処理量

表 3-2 県内の中間処理業者の処理地区別処理実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）

（単位：t/年）

種類	処理地区	県内計									
		県北 T1	県中 T2	県南 T3	会津 T4	南会津 T5	相双 T6	福島市 TC	郡山市 TA	いわき市 TB	
合計		2,674,235	186,681	207,357	234,800	316,451	23,353	309,640	111,444	445,300	839,208
燃え殻		107,846		6,388		232		73,953	5,902	7,262	14,109
汚泥		137,035	8,806	18,007	6,239	20,984	20	20,563	2,605	38,244	21,569
廃油		34,126			1,490	13,514		93		4,873	14,156
廃酸		49,215		8	175	1,555		25		654	46,798
廃アルカリ		16,736			828	5,128		20			10,761
廃プラスチック類		127,302	5,253	10,644	4,351	41,158	52	7,001	3,675	35,245	19,923
紙くず		4,791	0	2,159	205	279	12	243	294	1,144	454
木くず		287,297	9,386	63,674	34,622	31,706	786	10,428	15,657	27,403	93,635
繊維くず		3,006		205	30	102	3	216	617	493	1,340
動植物性残さ		16,628	5,231	6,612	4,202	18		197		179	189
動物系固形不要物											
ゴムくず		20									20
金属くず		21,797	325	8,728	449	473	50	798	344	5,602	5,029
ガラス陶磁器くず		130,538	5,267	7,538	13,992	9,560	65	5,667	3,858	37,518	47,072
鉱さい		26,024	573	952	8,155	3		747		12,005	3,589
がれき類		1,235,857	145,117	74,471	160,063	63,629	22,307	188,135	51,367	244,809	285,959
ばいじん		229,611		6,566		39,108		13	7,159	23,625	153,140
13号廃棄物											
動物のふん尿		6,727	6,724	3						1	
動物の死体		19									19
その他		239,661	0	1,403		89,003	57	2,288	19,219	6,243	121,447
	感染性廃棄物	10,801				2,414		219		150	8,018
	混合廃棄物	226,190		1,403		86,570	57	2,069	19,219	6,093	110,778
	その他	2,670	0			18					2,652

注)「その他」には、感染性廃棄物、混合廃棄物以外のその他産業廃棄物を含む。

表 3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計	2,674,235 (100.0%)	192,432 (7.2%)	174,701 (6.5%)	201,033 (7.5%)	116,507 (4.4%)	16,177 (0.6%)	429,361 (16.1%)	161,985 (6.1%)	310,127 (11.6%)	543,577 (20.3%)	199,841 (7.5%)	300 (0.0%)	318 (0.0%)	2,364 (0.1%)	40,615 (1.5%)
燃え殻	107,846	3	49	425	1,046		74,508	13	44	15,117	4,171			49	31
汚泥	137,035	18,049	5,827	8,600	8,084	296	13,059	7,737	28,052	22,928	894	7	1	28	878
廃油	34,126	1,454	1,377	1,668	1,322	154	1,214	862	2,365	4,803	16	0	0	45	818
廃酸	49,215	166	187	121	573	0	459	116	261	945	0		0	2,055	457
廃アルカリ	16,736	717	285	675	595	4	1,731	234	550	4,633	2		18	1	563
廃プラスチック類	127,302	12,695	6,464	10,752	5,167	323	13,423	9,396	18,561	19,763	20,482	0	9	131	2,434
紙くず	4,791	232	264	194	88	21	800	497	614	1,820	55				164
木くず	287,297	14,790	43,554	29,004	20,696	959	31,900	15,593	22,512	89,854	9,570				1,209
繊維くず	3,006	174	121	93	130	14	532	492	146	1,084	21				198
動植物性残さ	16,628	2,200	1,286	1,918	60		158	3,692	4,146	320					2,849
動物系固形不燃物															
ゴムくず	20		1						1	17					
金属くず	21,797	1,293	3,653	922	677	115	2,037	1,891	5,793	4,492	248	0	28	44	244
ガラス陶磁器くず	130,538	10,182	9,429	8,573	6,598	211	13,515	8,578	25,630	32,135	3,088	0		3	3,965
鋳さい	26,024	4,988	2,796	5,162	402		158	1,790	296	1,070	1,488				2,969
がれき類	1,235,857	120,441	94,234	145,545	66,328	13,443	238,119	102,240	171,570	257,065	11,904				741
ばいじん	229,611	9	27	60	269	0	82,121			27,784	3,072		262		22,970
13号廃棄物															
動物のふん尿	6,727	6,724		3					1						
動物の死体	19	0	2	4	0		3	0	1	7	1				
その他	239,661	8,148	13,017	1,275	3,891	144	4,723	11,789	7,457	6,696	131,379	293	0	9	3,173
感染性廃棄物	10,801	333	316	304	613	27	215	1,241	1,223	1,211	0	0	0	0	886
混合廃棄物	226,190	7,174	11,492	756	3,220	113	4,545	10,431	6,144	4,930	133,462				1,960
その他	2,670	155	283	48	26	1	8	65	46	136	2	293	0	9	327

注)「その他」には、感染性廃棄物、混合廃棄物以外のその他産業廃棄物を含む

表 3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績 (産業廃棄物処分実績報告データの集計結果) <その2>

(単位：t/年)

種類	発生地区																
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
合計	424 (0.0%)	4,344 (0.2%)		108,892 (4.1%)	37,678 (1.4%)	21,350 (0.8%)	36,501 (1.4%)	18,419 (0.7%)	8,134 (0.3%)	9,234 (0.3%)	22,931 (0.9%)	6,515 (0.2%)	52 (0.0%)	96 (0.0%)	154 (0.0%)	916 (0.0%)	242 (0.0%)
燃え殻		433		4,638	3,074	722	1,382	1,474		61	324						
汚泥	74	1,398		2,744	3,352	2,282	1,476	1,271	338	896	6,242	747	28	82	5	361	35
廃油	0	466		2,496	638	3,277	459	2,194	665	1,629	3,884	934	14	12	31	78	13
廃酸	1	964		41,490	228	53	169	200	70	127	241	31	2	0	3	1	4
廃アルカリ	0	242		2,771	367	111	38	315	806	640	252	468	2	1	70	1	7
廃プラスチック類	2	203		1,277	853	241	737	542	568	2,616	436	39	5	0	3	89	14
紙くず		10		31	2												
木くず		255		2,471	1,035	180	1,834	1,267	343	268	1						
繊維くず				3	195												
動植物性残さ				427			2,314	81	11						10		
動物系固形不燃物																	
ゴムくず																	
金属くず	17	34		225	15	1	2	8	6	35	3	4			0	1	1
ガラス陶磁器くず	0	76		4,242	2,227	1,159	531	7	37	138	139				0	0	0
鉱さい		138		1,162	236	807	2,021	10			531						
がれき類		34		4,806	2,064	68	210	283	118	19	430				9		
ばいじん	328			33,994	13,613	3,116	16,042	3,915	4,670	1,846	8,234	3,935				10	168
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他	1	92		6,114	9,780	9,333	9,287	6,851	502	958	2,214	357	0		22	376	
感染性廃棄物	1	41		2,849	829	4	72	25	279	61	217		0		22		
混合廃棄物		2		3,017	8,940	9,317	9,171	6,435	120	820	1,837	310				374	
その他		49		248	10	13	44	391	104	76	161	47				2	

表 3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績 (産業廃棄物処分実績報告データの集計結果) <その3>

(単位: t/年)

発生地区 種類	(単位: t/年)																
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
合計	2,867 (0.1%)	3,377 (0.1%)	841 (0.0%)	79 (0.0%)	24 (0.0%)	974 (0.0%)	421 (0.0%)	14 (0.0%)	7 (0.0%)			407 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)		0 (0.0%)	
燃え殻												284					
汚泥	175	131	551	61	10	98	228	3	3			3	0	0		0	
廃油	416	194	46	3	12	272	162	6	2			120	0	1		0	
廃酸	243	5	1	3	1	32	10	1	0								
廃アルカリ	344	32	188	1	1	51	18	1	2				0				
廃プラスチック類	24	4	39	6		2	0	1				0					
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ	5					0											
動物系固形不燃物																	
ゴムくず																	
金属くず	1	2	0	1		2	4	0									
ガラス陶磁器くず	2	67	2	4		0		1									
鉱さい																	
がれき類		183		1													
ばいじん		2,759	5			403											
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他	1,657		9			114		0				0					
感染性廃棄物	32																
混合廃棄物	1,622																
その他	3		9			114		0				0					

表 3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績 (産業廃棄物処分実績報告データの集計結果) <その4>

(単位：t/年)

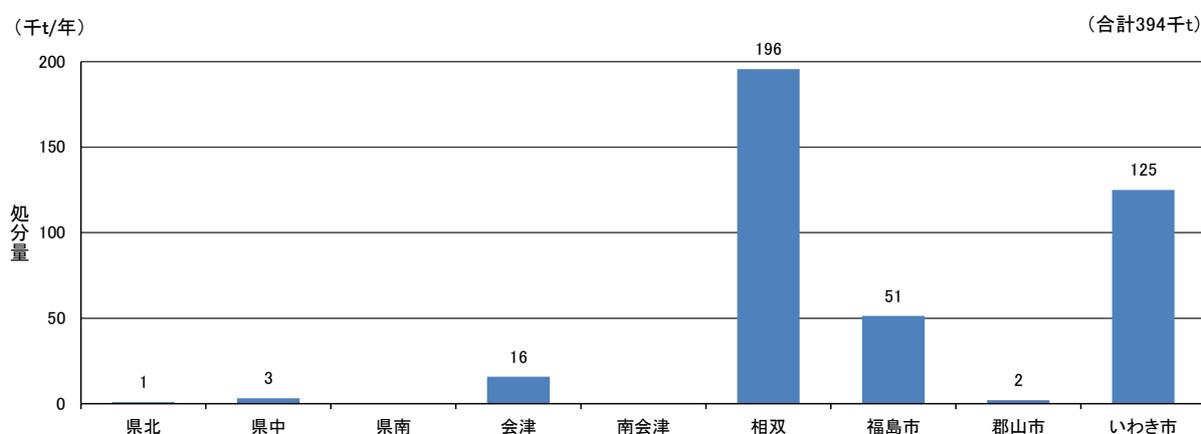
発生地区 種類	発生地区									
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計	0 (0.0%)	0 (0.0%)			0 (0.0%)			2 (0.0%)	0 (0.0%)	
燃え殻										
汚泥										
廃油					0			2		
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残渣										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず		0							0	
ガラス陶磁器くず										
鋳さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他										
感染性廃棄物										
混合廃棄物										
その他										

3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分

最終処分場で埋立処分された実績量を処分地区別にみると、**図 3-7**、**図 3-8** 及び**表 3-4**、**表 3-5** のとおりである。

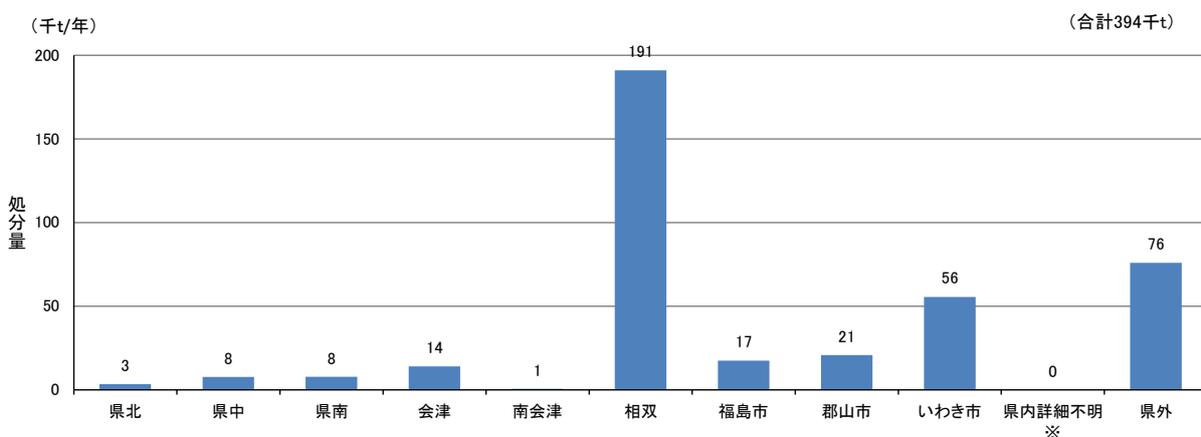
県内の最終処分業者の最終処分量 **394** 千トン処分地区別にみると、相双地区が **196** 千トンで最も多く、以下、いわき市が **125** 千トン、福島市が **51** 千トン等となっている。(**図 3-7**、**表 3-4**)

県内の最終処分場で埋立処分された実績量を委託元である発生地区別にみると、相双地区が **191** 千トンで最も多く、以下、県外が **76** 千トン、いわき市が **56** 千トン、郡山市が **21** 千トン、福島市が **17** 千トン、会津地区が **14** 千トン等となっている。(**図 3-8**、**表 3-5**)



注) 県南地区及び南会津地区には最終処分業者がない

図 3-7 処分地区別の県内の最終処分業者による処分量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの

図 3-8 発生地区別の最終処分業者による処分量

表 3-4 県内の最終処分業者の処分地区別処分実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）

(単位：t/年)

種類	処分地区	県内計									
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	
合計		394,027	1,036	3,227		15,741		195,640	51,396	2,054	124,934
燃え殻		52,070				4,272		26,719	10,364	11	10,704
汚泥		36,105	582			2,787		7,882	11,371	1,544	11,940
廃油											
廃酸											
廃アルカリ											
廃プラスチック類		44,008	83	892		34		6,796	660	177	35,367
紙くず		1							1	0	0
木くず		804							804		
繊維くず											
動植物性残さ		491				481				9	
動物系固形不要物											
ゴムくず		3							3		
金属くず		506	0	0		4			216	17	268
ガラス陶磁器くず		24,671	63	867		362		1,416	1,408	7	20,548
鉱さい		9,670	118			2,439			3,847	265	3,000
がれき類		45,435	190	1,246		613		4,378	13,796	24	25,188
ばいじん		152,988				210		129,807	8,927		14,044
13号廃棄物											
動物のふん尿											
動物の死体											
その他		27,275		222		4,537		18,642	0		3,873
	感染性廃棄物										
	混合廃棄物	27,274		222		4,537		18,642			3,873
	その他	0							0		

注)「その他」には、感染性廃棄物、混合廃棄物以外のその他産業廃棄物を含む。

表 3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績 (産業廃棄物処分実績報告データの集計結果) <その1>

種類	処分地区	県内計										県外計				
		物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計		394,027 (100.0%)	318,147 (80.7%)	3,362 (0.9%)	7,667 (1.9%)	7,759 (2.0%)	13,964 (3.5%)	573 (0.1%)	190,973 (48.5%)	17,461 (4.4%)	20,797 (5.3%)	55,584 (14.1%)	7 (0.0%)	75,880 (19.3%)	454 (0.1%)	677 (0.2%)
燃え殻		52,070	43,836	92	544	497	4,086	3	27,905	1,116	1,351	8,350		8,234	269	5
汚泥		36,105	27,337	439	2,334	565	4,329	65	10,721	1,367	1,939	7,500		8,768	93	
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
廃プラスチック類		44,008	22,193	653	1,210	1,691	1,015	37	3,762	3,959	1,506	9,555	0	21,814		
紙くず		1	0								0	0		1		
木くず		804	686		686									117	93	
繊維くず																
動植物性残さ		491	491		9		481									
動物系固形不要物																
ゴムくず		3	3							3						
金属くず		506	307	19	0	148	2	0	6	34	23	75		199		
ガラス陶磁器くず		24,671	18,876	361	1,357	690	1,145	233	7,628	2,284	3,670	3,809	2	5,796		670
鉱さい		9,670	9,078	1,037	126	253	2,323		6,903	240	147	103		593		
がれき類		45,435	36,416	802	1,338	1,063	1,497	196	3,491	7,790	11,780	8,749	6	9,018		1
ばいじん		152,988	148,019			3,105			130,339	87	4	14,595		4,969		
13号廃棄物																
動物のふん尿																
動物の死体																
その他		27,275	10,903	2	390	7	1,789	39	545	3,255	568	4,518		16,372		
感染性廃棄物																
混合廃棄物		27,274	10,903	2	390	7	1,789	39	545	3,255	568	4,518		16,372		
その他		0	0	0							0					

注)「その他」には、感染性廃棄物、混合廃棄物以外のその他産業廃棄物を含む

表 3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

種類	処分地区																
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
合計	931 (0.2%)	62 (0.0%)		6,161 (1.6%)	15,969 (4.1%)	12,866 (3.2%)	18,183 (4.6%)	2,045 (0.5%)	12,315 (3.1%)	5,428 (1.4%)	532 (0.1%)				0 (0.0%)	459 (0.1%)	
燃え殻		33		220	1,299	629	4,333	370		573	503						
汚泥				3,406	788	1,519	2,066		866	30							
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類		29		413	2,458	7,687	4,043	673	2,000	4,263					0	248	
紙くず					1												
木くず					25												
繊維くず																	
動物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず					199												
ガラス陶磁器くず	0			785	736	253	1,950	11	1,163	175						53	
鉱さい				3	376	21	164				29						
がれき類				648	1,405	528	4,585	58	1,428	207						158	
ばいじん				500	1,425	1,162	711	930	60	180							
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他	931			185	7,258	866	331	3	6,798								
感染性廃棄物																	
混合廃棄物	931			185	7,258	866	331	3	6,798								
その他																	

表 3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）〈その3〉

(単位：t/年)

処分地区	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
種類																	
合計																	
燃え殻																	
汚泥																	
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類																	
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず																	
ガラス陶磁器くず																	
鋳さい																	
がれき類																	
ばいじん																	
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他																	
感染性廃棄物																	
混合廃棄物																	
その他																	

表 3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果） <その 4>

(単位：t/年)

処分地区 種類	処分地区									
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計										
燃え殻										
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラス陶磁器くず										
鉱さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他										
感染性廃棄物										
混合廃棄物										
その他										

第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績

4.1 多量排出事業者等における報告状況

多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実施報告書の報告数をみると、表 4-1 及び表 4-2 のとおりである。

多量排出事業者の実施報告は 309 事業者、指定排出事業者の実施報告は 24 業者となっている。また、その他年間の発生量が 500 t 未満の事業者の報告が 44 件あった。

表 4-1 多量排出事業者等における報告状況（令和 5 年度実績）

事業者 業種	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者											(報告数)		
	計	産業廃棄物多量排出事業者					特別管理産業廃棄物多量排出事業者					適正化条 例に基づ く指定排 出事業者	その他	
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市			
農業・林業														
漁業														
鉱業														
建設業	124	123	91	8	10	14	1	1					7	13
製造業	146	81	41	9	8	23	65	30	4	10	21	14	24	
電気・ガス・水道業	26	25	12	1	3	9	1	1				1		
情報通信業												1		
運輸・郵便業														
卸・小売業														
金融・保険業														
不動産業・物品賃貸業														
専門サービス業														
宿泊業・飲食サービス業														
生活関連サービス業													1	
教育・学習支援業														
医療・福祉業	13						13	5	3	2	3		6	
複合サービス業														
サービス業												1		
公務														
計	309	229	144	18	21	46	80	37	7	12	24	24	44	

注) 同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

多量排出事業者における令和 5 年度の発生量の目標値の報告数は表 4-2 のとおりであり、産業廃棄物に係るものが 179 事業者、特別管理産業廃棄物に係るものが 65 事業者の合計 244 事業者となっている。

表 4-2 多量排出事業者等における目標値の報告状況（令和6年度）

事業者 業種	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者											(報告数)
	計	産業廃棄物多量排出事業者					特別管理産業廃棄物多量排出事業者					適正化条 例に基づ く指定排 出事業者
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	
農業・林業												
漁業												
鉱業												
建設業	92	90	67	3	9	11	2	2				6
製造業	123	70	38	4	8	20	53	30	2	8	13	15
電気・ガス・ 水道業	19	19	8	1	3	7						1
情報通信業												1
運輸・郵便業												
卸・小売業												
金融・保険業												
不動産業・ 物品賃貸業												
専門サービス業												
宿泊業・ 飲食サービス業												
生活関連 サービス業												
教育・学習 支援業												
医療・福祉業	10						10	4	3	1	2	
複合サービス業												
サービス業												
公務												
計	244	179	113	8	20	38	65	36	5	9	15	23

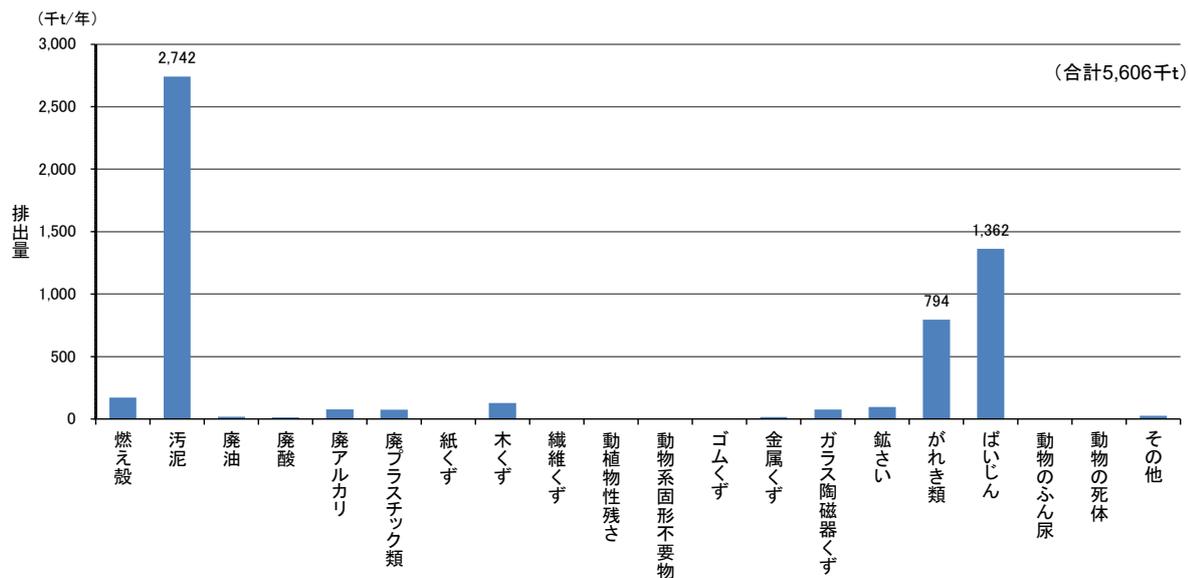
注) 同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性

令和5年度における多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実施報告で集計した排出量（発生量－有償物量）をみると、図4-1、図4-2、表4-3、表4-4のとおりである。

排出量5,606千トン種類別にみると、汚泥が最も多く、以下、ばいじん、がれき類等となっている。（図4-1、表4-3）

排出量を業種別にみると、電気・ガス・水道業が最も多く、以下、製造業、建設業となっている。（図4-2、表4-4）



注)「その他」には、13号廃棄物、感染性廃棄物、混合廃棄物、その他産業廃棄物を含む

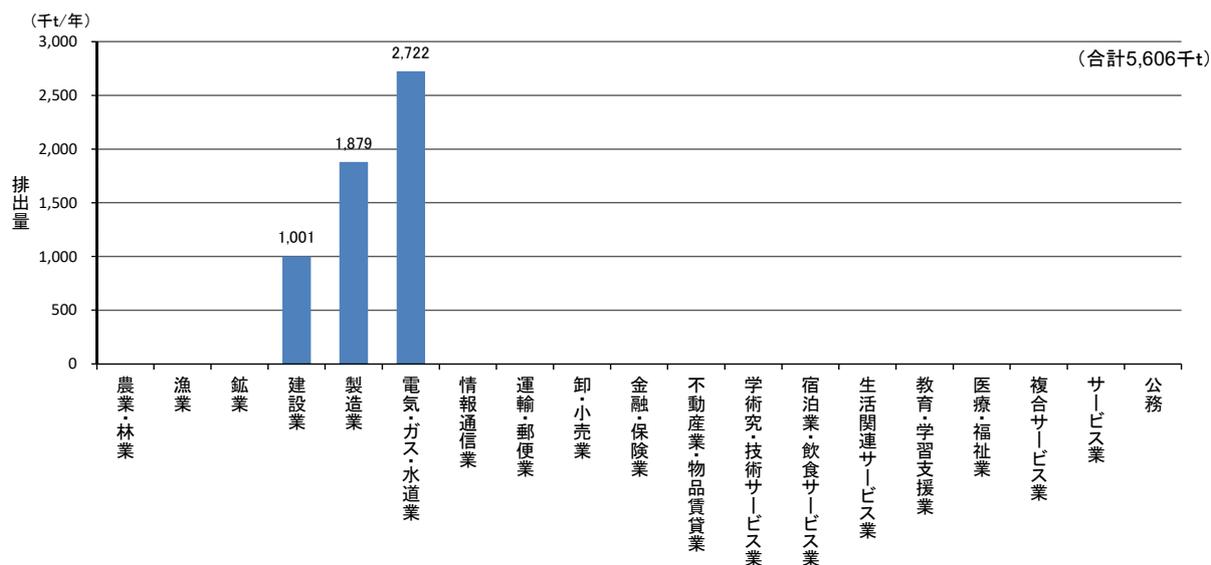


図4-2 多量排出事業者等の業種別の産業廃棄物排出量

表 4-3 産業廃棄物の種類別にみた多量排出事業者等の発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

処理・処分 種類	自社処理									委託処理量
	排出量	有価物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量	中間処理				
						減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処 分量	
合計	5,606 (100.0%)	119 (2.1%)	15 (0.3%)	229 (4.1%)	2,741 (48.9%)	2,518 (44.9%)	223 (4.0%)	72 (1.3%)	34 (0.6%)	2,617 (46.7%)
燃え殻	171	5	4	30						132
汚泥	2,742	71		0	2,571	2,436	135	0	34	201
廃油	18	1	0		1	1				16
廃酸	13	0	0		1	1	0	0		11
廃アルカリ	78				47	46	1	0		32
廃プラスチック類	74	0	3	0	34	29	5	4		39
紙くず	4	2	0		1	0	1	1		1
木くず	127	0			7	1	6	5		122
繊維くず	3				0	0	0			3
動植物性残さ	6									6
動物系固形不要物	0									0
ゴムくず	0									0
金属くず	16	7	4	0	0	0	0	0		5
ガラス陶磁器くず	76		1	1	4	0	4	3		70
鉱さい	95	1			18		18	12		82
がれき類	794	1	3	1	49	2	47	46	0	742
ばいじん	1,362	32		197	0	0	0	0		1,132
動物のふん尿										
動物の死体										
その他	25	0			8	2	6	0		23
感染性廃棄物	2									2
混合廃棄物	14	0			0		0	0		14
その他	9	0			8	2	6			7

注)「その他」には、13号廃棄物と感染性廃棄物及び混合廃棄物以外のその他産業廃棄物を含む。

表 4-4 業種別にみた多量排出事業者等の産業廃棄物発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

業種	処理・処分	自社処理								委託処理量	
		排出量	有価物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量		中間処理 後の自己 最終処 分量
合計		5,606 (100.0%)	119 (2.1%)	15 (0.3%)	229 (4.1%)	2,741 (48.9%)	2,518 (44.9%)	223 (4.0%)	72 (1.3%)	34 (0.6%)	2,617 (46.7%)
農業・林業											
漁業											
鉱業											
建設業		1,001	1	3	1	59	3	56	54	0	940
製造業		1,879	10	9	1	1,565	1,470	95	18	34	336
食料品		13				6	5	1			8
飲料・飼料		5									5
繊維											
木材		0									0
家具											
パルプ・紙		1,184	3			1,159	1,128	31	3		50
印刷		15	0	4		6	4	2	1		5
化学		336	1	0	1	280	244	36		33	57
石油・石炭											
プラスチック		1									1
ゴム											
皮革											
窯業・土石		79		1	0	9	6	3	1	0	69
鉄鋼		9									9
非鉄金属		49				37	36	1	0		13
金属		3				0	0	0			3
はん用機器		1									1
生産用機器											
業務用機器		6									6
電子部品		16				7	7	0			10
電気機器		36				19	17	1	0		18
情報通信機器		24	0			24	23	1	0		1
輸送機器		98	5	4		19	1	18	12		76
その他製造業		4									4
電気・ガス・水道業		2,722	108	4	228	1,117	1,045	72	0		1,338
電気業		1,886	108	4	228	283	280	3			1,267
ガス業											
熱供給業											
上水道業		60				58	55	3	0		5
工業用水道業											
下水道業		776				776	710	66	0		66
情報通信業		1	1								0
運輸・郵便業											
卸・小売業											
金融・保険業											
不動産業・物品賃貸業											
学術・技術サービス業											
宿泊業・飲食サービス業											
生活関連サービス業		0	0								0
教育・学習支援業											
医療・福祉業		3									3
複合サービス業											
サービス業		1									1
公務											

第5章 産業廃棄物の処理状況

5.1 再生利用の状況

1 再生利用量

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量は、表 5-1 及び図 5-1 のとおりであり、種類別（再生利用時点の種類）にみると、がれき類が 1,323 千トン（41%）と最も多く占め、以下、ばいじんが 548 千トン（17%）、燃え殻が 485 千トン（15%）、木くずが 293 千トン（9%）となっている。

業種別にみると、建設業が 1,850 千トン（57%）と最も多く占め、以下、電気・ガス・水道業が 902 千トン（28%）、製造業が 284 千トン（9%）等となっている。

表 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

(単位:千t/年)

業種 再生利用 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス 水道業	運輸業・ 郵便業	卸売業・ 小売業	医療・ 福祉業	サービ ス業	その他 の業種
合計	3,267 (100%)	90 (3%)	1,850 (57%)	284 (9%)	902 (28%)	5 (0%)	5 (0%)	3 (0%)	104 (3%)	24 (1%)
燃え殻	485 (15%)		106	30	347	0	0	0	1	1
汚泥	177 (5%)	90	26	22	26	0	0	0	10	2
廃油	10 (0%)		1	3	0	0	0	0	5	0
廃酸	3 (0%)		0	2		0	0	0	0	0
廃アルカリ	1 (0%)		0	1		0	0	0	0	0
廃プラスチック類	140 (4%)	0	67	42	1	1	4	2	22	2
紙くず	5 (0%)	0	4	1	0	0	0	0	0	0
木くず	293 (9%)		247	6	0	1	0	0	34	5
繊維くず	2 (0%)		1	0		0	0	0	1	0
動植物性残さ	15 (0%)		3	9	1		0		1	1
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)			0						
金属くず	26 (1%)		11	5	1	0	0	0	7	1
ガラス陶磁器くず	125 (4%)		74	39	0	0	0	0	10	1
鉱さい	80 (2%)		7	67	3				2	1
がれき類	1,323 (41%)	0	1,282	26	10	2	0	0		4
ばいじん	548 (17%)		6	28	513				1	1
動物のふん尿	7 (0%)								4	3
その他	27 (1%)		17	3	0	0	0	0	6	0

注)四捨五入を行っているため、合計と個々の計が一致しないものがある。

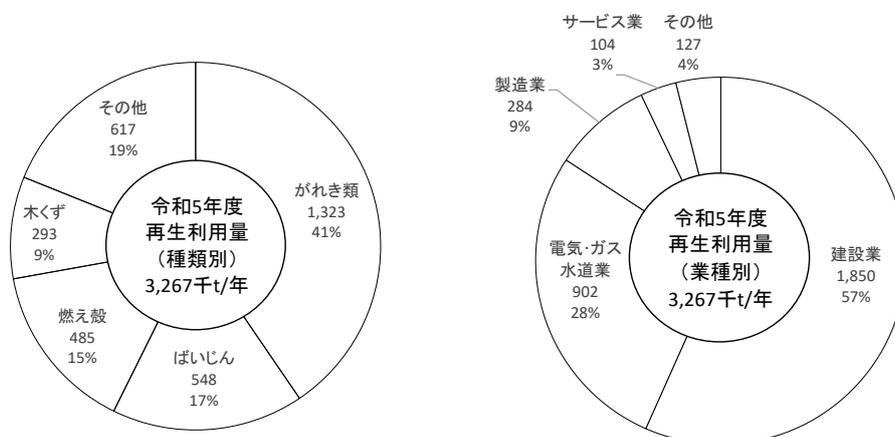


図 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

2 資源化状況の解析

産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データから処理状況を整理し産業廃棄物の種類ごとの資源化状況を整理した結果は、**図 5-2** 及び**表 5-2** のとおりである。

なお、ここでは、県内の中間処理業者で中間処理（県外搬入物を含む）、及び県外の中間処理業者で資源化されたものを以下の用途別に集計した。

資源化用途別にみると、セメント原料が **1,369** 千トンで最も多く、以下、工業用原料等が **1,197** 千トン、建設資材が **894** 千トン、堆肥化が **61** 千トン、燃料が **32** 千トンとなっている。

① 工業用原料等（1,197 千トン）

汚泥、廃酸、廃プラスチック類、木くず、鉱さい、ばいじん等を工業用原料として再生利用又は、再生用途が多様で特定の用途に区分ができないもの及び詳細な用途が不明なもの。

② 建設資材（894 千トン）

がれき類等を破砕、選別等し、建設資材として資源化。

③ セメント原料（1,369 千トン）

主に石炭火力発電所から発生するばいじんをセメント工場で原料として資源化。

④ 堆肥化（61 千トン）

主に有機性汚泥や動植物性残さを堆肥として資源化。

⑤ 燃料（32 千トン）

主に廃プラスチック類、木くずを破砕・選別・圧縮等により燃料として資源化。

主に廃油を油水分離等により再生燃料化。

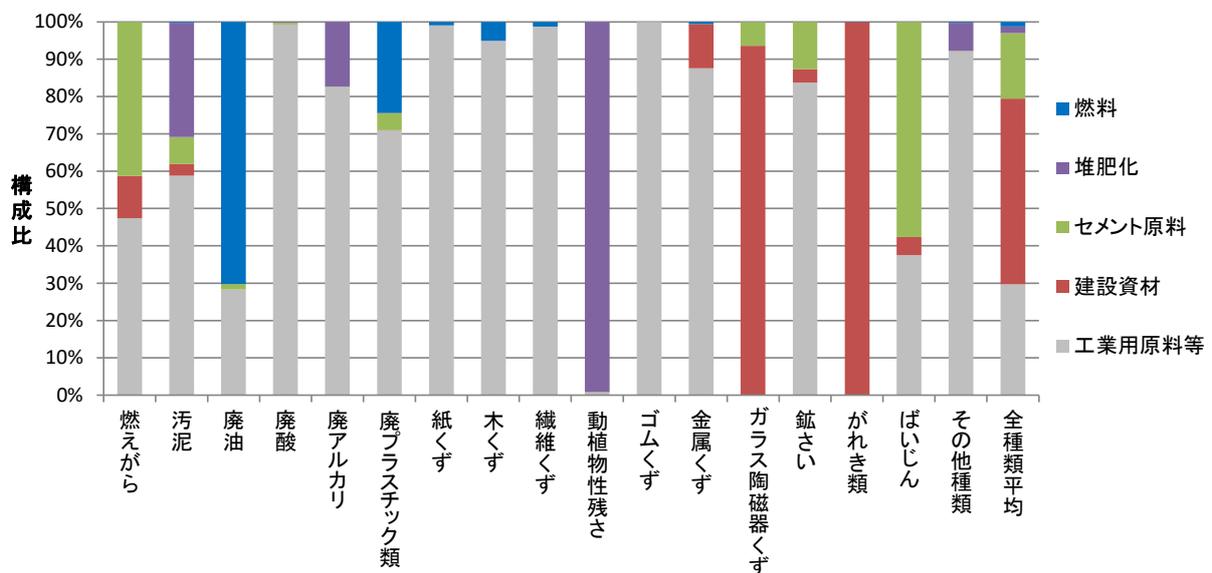


図 5-2 産業廃棄物の資源化の状況

表 5-2 種類別及び資源化用途別の資源化状況

(千t/年)

種類 \ 用途	工業用原料等	建設資材	セメント原料	堆肥化	燃料	計
燃えがら	79	19	73			170
汚泥	80	11	1	32	0	125
廃油	3		0		7	10
廃酸	46			0		46
廃アルカリ	1		0	1		1
廃プラスチック類	77	0	52		18	147
紙くず	4	0	1		0	5
木くず	146	0	245	0	7	398
繊維くず	2		1		0	3
動植物性残さ	0			17		17
ゴムくず	0					0
金属くず	19	3	6		0	27
ガラス陶磁器	0	59	83			143
鋳さい	64	9	28			101
がれき類		491	848			1,338
ばいじん	570	302	8			880
その他種類	107	0	23	10	0	141
計	1,197	894	1,369	61	32	3,552

5.2 最終処分の状況

1 最終処分量

種類別及び業種別の産業廃棄物の最終処分量は、表 5-3 及び図 5-3 のとおりである。

種類別（処分時点の種類）にみると、ばいじんが 333 千トン（53%）と最も多く、以下、燃え殻が 83 千トン（13%）、汚泥が 61 千トン（10%）、廃プラスチック類が 45 千トン（7%）、がれき類が 39 千トン（6%）等となっている。

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 410 千トン（65%）と最も多く、以下、建設業が 109 千トン（17%）、製造業が 69 千トン（11%）等となっている。

表 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

（単位：千t/年）

業種 処分時点 の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス 水道業	運輸業、 郵便業	卸売業・ 小売業	医療、 福祉業	サービ ス業	その他 の業種
合計	630 (100%)		109 (17%)	69 (11%)	410 (65%)	2 (0%)	0 (0%)	1 (0%)	31 (5%)	8 (1%)
燃え殻	83 (13%)		6	8	63	0	0	1	3	2
汚泥	61 (10%)		5	38	12	0	0	0	4	3
廃油	0 (0%)		0	0		0	0	0	0	0
廃酸	0 (0%)		0	0	0		0	0	0	0
廃アルカリ	0 (0%)		0	0	0		0	0	0	0
廃プラスチック類	45 (7%)		31	4	0	2	0	0	8	1
紙くず	1 (0%)		1	0	0	0	0	0	0	0
木くず	6 (1%)		3	0	0	0	0	0	2	1
繊維くず	1 (0%)		0	0	0		0	0	0	0
動植物性残さ	0 (0%)								0	
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)		0							
金属くず	1 (0%)		0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	33 (5%)		16	11	0	0	0	0	4	1
鉱さい	9 (1%)		3	1	5				0	0
がれき類	39 (6%)		32	2	1	0	0	0	4	0
ばいじん	333 (53%)		1	2	329			0	0	
動物のふん尿										
その他(混合物等)	19 (3%)		10	4	0	0	0	0	4	1

注)四捨五入を行っているため、合計と個々の計が一致しないものがある。

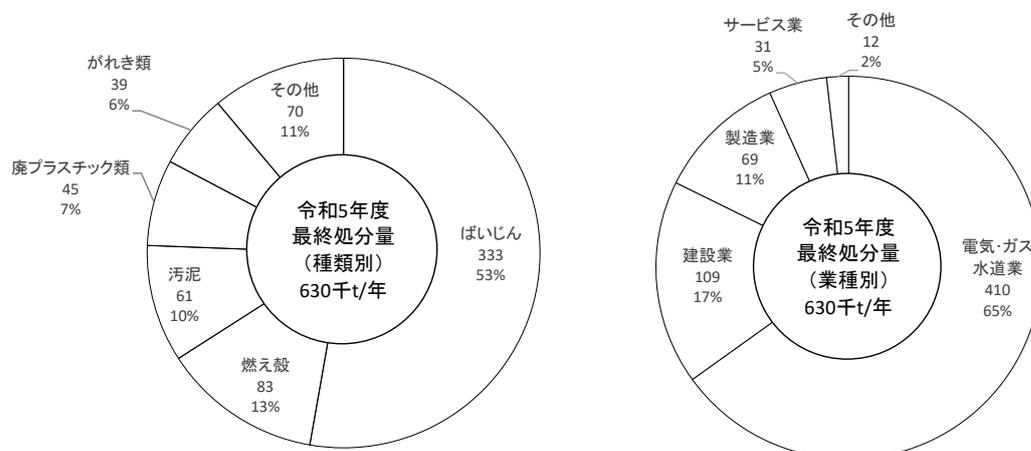


図 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

2 最終処分場残余年数の推計

県内の産業廃棄物処理業者から報告のあった最終処分場の残余容量と処分実績量の関係から、令和6年3月31日時点の最終処分場の残余年数を推計した結果は、以下のとおりである。

なお、残余年数の推計においては、自社処分場及び特定の事業場から排出された産業廃棄物のみを受け入れている最終処分場は除外した。

(1) 最終処分場の稼働状況

令和6年3月31日時点における最終処分場の稼働状況は、表5-4のとおりである。

最終処分場の残余容量がある施設は19施設であり、管理型8施設、安定型が11施設となっている。

これらの残余容量は、3,144千m³となっており、管理型が1,961千m³、安定型が1,182千m³となっている。

表 5-4 最終処分場の稼働状況（令和6年3月31日時点）

	計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
施設数 計	19	2	2		1		2	3	1	8
管理型	8	1	1		1			2	1	2
安定型	11	1	1				2	1		6
残余容量 計(千m ³)	3,144	0.5	350		251		202	1,078	10	1,253
管理型	1,961	0.4	182		251			962	10	557
安定型	1,182	0.1	168				202	116		696

(2) 最終処分場の残余年数の推計

令和6年3月31日時点の残余容量と当該最終処分場の令和5年度処分実績量は図5-4のとおりである。各最終処分場の許可上の容量から算出される、令和6年3月31日現在の残余容量を用いて計算した。

既存の最終処分場での令和5年度処分実績量と同等量が今後も最終処分されるものと仮定し残余年数を推計すると、管理型で12.0年、安定型で9.3年となっている。

なお、ここでの埋立廃棄物の比重は、1t/m³と設定している。

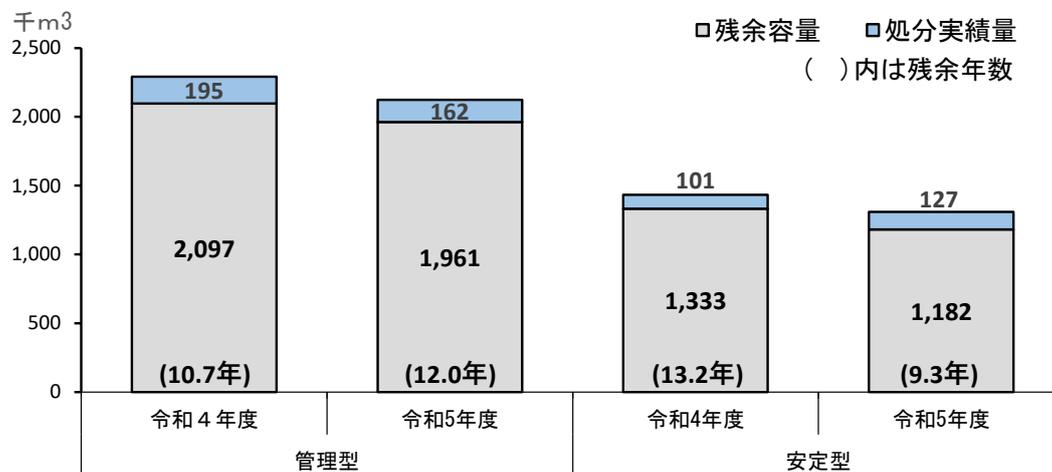


図 5-4 最終処分場の残余年数の推計 (実績量基準)

また、地区別の残余年数をみると図 5-5 のとおりである。残余年数は地区ごとに偏りがみられる。

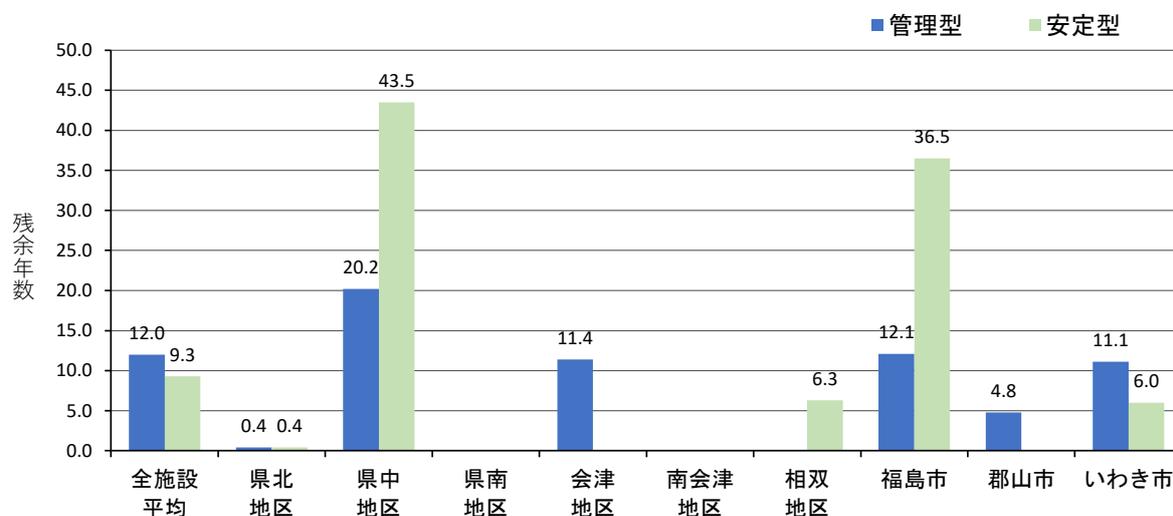


図 5-5 地区別の最終処分場の残余年数の推定 (令和 5 年度の最終処分実績を基準)

福島県廃棄物処理計画 (令和 4 年 1 月) では、令和元年度の最終処分率 7%を令和 8 年度に 6%以下とする削減目標を設定しているが、令和 5 年度の最終処分率は 9%と目標を達成していない。

令和 5 年度以降の最終処分量が令和 5 年度と同等量で推移すると仮定すると、既存の最終処分場の残余年数は前述のとおり管理型で 12.0 年、安定型で 9.3 年と推計される。

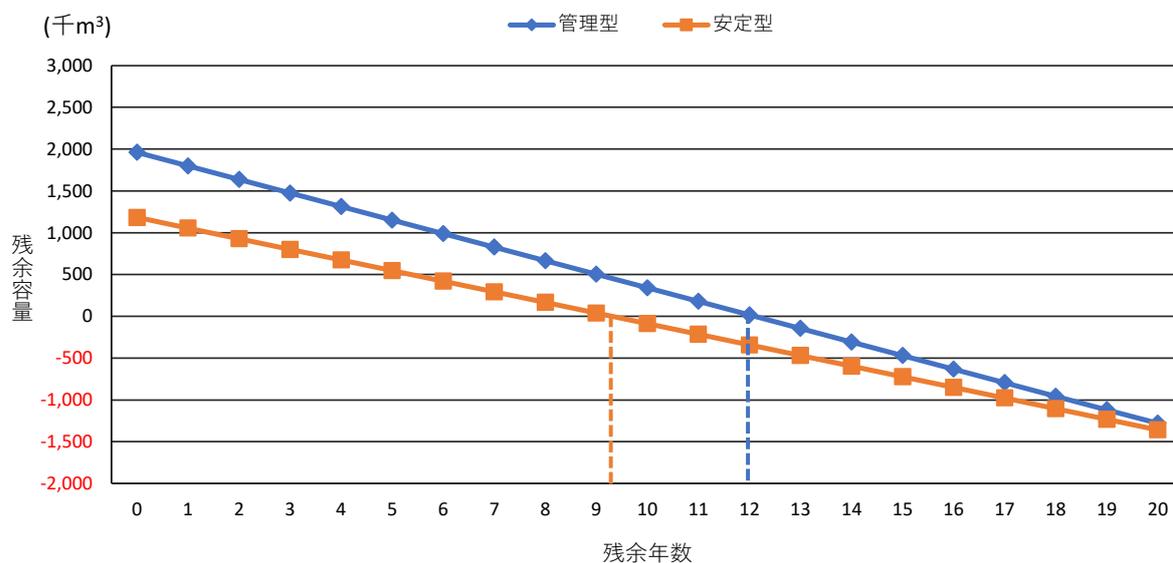


図 5-6 最終処分場の残余年数の推計

第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析

産業廃棄物管理交付等状況報告(廃棄物処理法第12条の3第7項)について、解析を行った結果は、以下のとおりである。

6.1 データ整備等の内容

1 電子データベース化

産業廃棄物管理票交付等状況報告書について、以下の電子データベース化を行った。

なお、電子マニフェスト登録等状況報告書のデータについても、共通項目のレイアウトに変更し、情報を統合した。

<台帳>	
①報告者氏名	②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④業種コード
<廃棄物データ>	
⑤行番号	⑥産業廃棄物の種類コード ⑦排出量 ⑧管理票の交付枚数
⑨運搬受託者の許可番号	⑩運搬受託者の氏名又は名称 ⑪運搬先のコード
⑫処分受託者の許可番号	⑬処分コード ⑭処分受託者の氏名又は名称
⑮処分場所のコード	

2 各種のデータ整備

6.1.1 で作成した統合データに対して、区間委託の制御、単位、種類コード、地域コード等の確認、整備を行った。

3 報告者及び事業場の整理

本解析においては、報告者台帳作成に当たって同一事業場等のマッチング作業を行うために、3つの項目から報告者を識別するコード(ID)化を行った。

本報告書で用いた用語		報告者及び事業場の整理
報告書件数		受理した報告書の件数。ただし、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告書については、電子マニフェスト交付単位(1件)で電子化されているため、報告者名称、種類、事業場名称、事業場住所が同一のものは1報告書として集計した。
報告者	報告企業(ID1)	報告者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。
	報告事業者(ID2)	ID1を更に、「本店、支店、営業所」等の名称、「報告者の住所(市町村)」でマッチングしたもの
	報告事業場(ID3)	ID2を更に、事業場名称、「事業場の住所(市町村)」でマッチングしたもの

6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況は、表 6-1、表 6-2 のとおりである。

令和 5 年度実績として福島県(福島市、郡山市、いわき市を含む)に報告された産業廃棄物管理票交付状況報告書に基づく報告件数は 7,495 件、産業廃棄物管理票交付枚数(以下、「交付枚数」という)は 365,552 枚、排出量は 1,798 千トンとなっている。また、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告件数は 19,836 件、交付枚数 437,986 枚、排出量は 3,059 千トンとなっており、両方を合わせた(以下、「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」という)報告件数が 27,331 件、交付枚数が 803,538 枚、排出量が 4,858 千トンとなっている。

また、本解析にて整理した報告者及び事業場数では、報告企業数(ID1)が 9,861 件、報告事業者数(ID2)が 10,221 件、報告事業場数(ID3)が 26,159 件であった。(表 6-1)

電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく交付枚数は増加している。(表 6-2)

表 6-1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

		報告書件数	報告企業数 (ID1)	報告事業者数 (ID2)	報告事業場数 (ID3)	産業廃棄物 管理票 交付枚数	排出量 (t)
県 所 管	産業廃棄物管理票交付状況報告書	3,600	1,804	1,899	3,418	195,364	1,138,054
	電子マニフェスト登録等状況報告書	8,503	2,116	2,218	7,950	217,064	2,009,603
	(3市除く)	12,103	3,920	4,117	11,368	412,428	3,147,657
福 島 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,096	666	675	1,083	39,505	84,240
	電子マニフェスト登録等状況報告書	3,704	1,187	1,215	3,595	62,570	169,034
		4,800	1,853	1,890	4,678	102,075	253,275
郡 山 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,528	921	945	1,503	62,747	347,514
	電子マニフェスト登録等状況報告書	3,852	1,150	1,182	3,737	64,046	148,525
		5,380	2,071	2,127	5,240	126,793	496,039
い わ き 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,271	831	852	1,221	67,936	228,609
	電子マニフェスト登録等状況報告書	3,777	1,186	1,235	3,652	94,306	731,987
		5,048	2,017	2,087	4,873	162,242	960,597
合 計	産業廃棄物管理票交付状況報告書	7,495	4,222	4,371	7,225	365,552	1,798,417
	電子マニフェスト登録等状況報告書	19,836	5,639	5,850	18,934	437,986	3,059,150
		27,331	9,861	10,221	26,159	803,538	4,857,567

表 6-2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況の推移

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
交 付 枚 数	産業廃棄物管理票交付状況報告書	441,769	433,307	414,066	439,460	407,664	365,552
	電子マニフェスト登録等状況報告書	298,246	351,656	374,189	399,202	412,396	437,986
	計	740,015	784,963	788,255	838,662	820,060	803,538
排 出 量 (千t)	産業廃棄物管理票交付状況報告書	2,140	2,139	1,961	1,705	1,469	1,798
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,587	2,838	2,786	2,970	2,790	3,059
	計	4,727	4,977	4,747	4,675	4,258	4,858

2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出状況

種類別の産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数は、表 6-3、表 6-4 のとおりである。

産業廃棄物の種類別に排出量をみると、ばいじんが 1,606 千トンで最も多く、以下、がれき類が 1,304 千トン、汚泥が 476 千トン、木くずが 324 千トン等となっている。(表 6-3)

業種別にみると、建設業が 1,894 千トンで最も多く、以下、電気・ガス・水道業が 1,766 千トン、製造業が 699 千トン等となっている。(表 6-4)

なお、産業廃棄物管理票交付等状況報告書データには、石炭火力発電所から排出されるばいじんのうち、船積貯槽へ運搬された運搬実績が含まれている。

また、県内の中間処理業者における中間処理後の残さ物の他社への委託処理（2次マニフェスト）による交付分が含まれている。

表 6-3 種類別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,857	3,147	253	496	961	803,538	412,428	102,075	126,793	162,242
燃え殻	193	139	2	1	51	13,000	7,956	299	415	4,330
汚泥	476	163	14	190	109	42,309	18,633	3,469	8,806	11,401
廃油	33	16	2	4	12	41,472	18,479	5,564	8,275	9,154
廃酸	17	8	0	4	5	5,040	2,496	350	1,027	1,167
廃アルカリ	49	25	1	14	9	7,763	4,297	545	1,430	1,491
廃プラスチック類	237	143	11	50	33	160,891	76,361	25,583	27,744	31,203
紙くず	7	4	1	1	1	11,741	5,970	1,728	2,520	1,523
木くず	324	205	19	35	64	80,401	41,030	7,776	12,457	19,138
繊維くず	7	6	0	0	1	4,364	2,954	245	450	715
動植物性残さ	44	39	2	4	0	6,554	2,615	853	2,851	235
動物系固形不要物	0			0		51			51	
ゴムくず	0	0		0	0	74	24		33	17
金属くず	28	11	3	11	4	23,676	9,515	3,421	6,535	4,205
ガラス・陶磁器くず	311	160	32	43	76	82,276	35,603	12,336	16,096	18,241
鉱さい	134	117	11	2	5	11,806	10,597	664	137	408
がれき類	1,304	862	145	130	167	220,166	137,399	25,683	26,334	30,750
動物のふん尿	2	2		0		667	666		1	
動物の死体	0	0	0	0	0	143	97	26	5	15
ばいじん	1,606	1,199	0		406	30,531	16,422	32		14,077
13号廃棄物										
その他	85	49	10	7	19	60,613	21,314	13,501	11,626	14,172
感染性廃棄物	30	27	1	1	1	31,532	11,283	8,611	6,747	4,891
混合廃棄物等	55	22	8	6	18	29,081	10,031	4,890	4,879	9,281

表 6-4 業種別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,857	3,147	253	496	961	803,538	412,428	102,075	126,793	162,242
農業・林業	4	1	0	1	1	960	590	20	209	140
漁業										
鉱業	7	2	4	1	0	1,934	859	974	92	9
建設業	1,894	1,160	149	344	241	389,194	220,853	43,365	62,231	62,744
製造業	699	394	26	47	232	131,596	67,987	9,197	14,703	39,709
電気・ガス・水道業	1,766	1,323	3	4	436	41,906	23,963	446	364	17,133
情報通信業	3	1	0	0	1	1,734	754	383	281	316
運輸・郵便業	12	7	1	1	3	6,909	2,575	960	2,075	1,300
卸・小売業	42	17	6	14	5	85,222	35,891	17,475	17,439	14,417
金融・保険業	1	0	0	0	0	122	34	38	29	22
不動産業・物品賃貸業	12	6	4	1	1	7,349	2487.05	1,706	1,257	1,898
専門サービス業	2	0	0	1	0	1,882	516	449	550	366
宿泊業・飲食サービス業	3	1	0	1	0	12,382	4,590	3,315	2,541	1,936
生活関連サービス業	2	1	0	0	0	499	368	21	34	76
教育・学習支援業	0	0	0	0	0	588	50	271	149	118
医療・福祉業	14	6	3	3	2	58,376	21,554	15,129	12,425	9,267
複合サービス業	0	0	0	0	0	229	38	21	19	152
サービス業	327	196	58	33	40	55,193	26,465	7,916	9,244	11,569
公務	71	28	0	43	0	7,428	2,838	391	3,140	1,059
その他	0	0	0	0	0	35	16.37	0	10	9

6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成

産業廃棄物の処分業者、収集運搬業者の令和5年度実績データから、委託者（排出事業者）を整理し、以下のとおり「産業廃棄物管理票交付等状況報告」（廃棄物処理法第12条の3第6項）の対象となる事業者の台帳を作成した。

また、産業廃棄物管理交付等状況報告書で作成した台帳同様(6.1)に、3つの項目から排出者を識別するコード(ID)化を行った。

表 6-5 排出者及び事業場の整理方法

本報告書で用いた用語		排出者及び事業場の整理
排出者	排出企業(IDa)	委託者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。また、福島市、郡山市、いわき市は、単独で整理した。
	排出事業者(IDb)	IDa を更に、「本店、支店、営業所」等の名称でマッチングしたもの
	排出事業場(IDc)	IDb を更に、「委託者の住所(市町村)」でマッチングしたもの

このマッチングの作業により、産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数は 43,711 件であり地域別の対象者数は、表 6-6 のとおりである。なお、このうち産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データにおいて、詳細な住所が記載されていないものが 1,314 件あった。

表 6-6 産業廃棄物の処分業者・収集運搬実績から整理した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数

	排出企業数 (IDa)	排出事業者数 (IDb)	排出事業場数 (IDc)
県所管	16,241	18,518	23,915
県北地区			4,633
県中地区			4,802
県南地区			3,781
会津地区			5,023
南会津地区			422
相双地区			3,937
詳細不明			1,314
福島市	5,247	5,843	5,843
郡山市	6,708	7,343	7,343
いわき市	6,018	6,610	6,610
合計	34,214	38,314	43,711

*1:IDa、IDb は、事業場住所を考慮しないため地区別の内訳は非表示とした。

*2:福島市、郡山市、いわき市は IDa の整理時点で同市を分離しているため、IDb と IDc は同数となる。

作成した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者は、別添の CD-ROM に格納した。なお、この報告対象者リストのイメージは、表 6-7 のとおりであり、対象者の地区、市町村コード、名称で構成される。

表 6-7 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストのイメージ

(IDa)	(IDb)	(IDc)	地区	市町村CD	排出事業場名称
500001	01	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)〇〇工場
500001	02	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)△△工場

参考データ

統計表1 業種別・種類別の排出量（令和5年度）

（単位：千t/年）

業種	種類	燃え殻		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラス類	磁器くず	ぬきさい	がれき類	ばいじん	13号廃棄物	動物のふん尿	動物の死体	その他		
		合計	無灰分																					悪臭性廃棄物	燃焼性廃棄物	その他
合計	合計	6,958	252	2,895	29	14	82	244	7	344	4	16		0	27	160	102	1,369	1,203		7	1	203	6	191	6
農業	林業	12	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	1	0	0	0
	畜産	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	1	0	0	0
	林業	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁業		0																								
鉱業	採石	168																								
建設業	建設業	2,125	26	61	1	1	1	113	5	289	2	3		0	11	92	10	1,323	12		1	0	172	0	170	2
製造業計	製造業計	1,927	15	1,506	16	9	75	82	1	7	0	9		0	6	51	80	27	31			0	12	0	10	2
	食料品	23	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飲料・飼料	3		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繊維	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木材	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家具	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パルプ・紙	1,223	6	1,137	0	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	4	3	2	0
	印刷	12	0	1	1	1	1	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学	317	1	272	9	3	23	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		0	0	0	0	0
	石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プラスチック	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴム	3		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮革	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窯業・土石	72	0	10	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	46	2	9	1		1	0	0	0	0	0
	鉄鋼	12	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1		0	0	0	0	0	0
	非鉄金属	41	2	37	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ばね用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生産用機器	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	業務用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電子部品	16	7	7	1	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気機器	31	20	0	2	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	情報通信機器	24	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	輸送用機器	80	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	67	0	0	0	0	3	0	3	0
	その他製造業	63	4	2	1	13	10	0	3	0	0	0	0	0	1	3	1	16	2		2	4	0	4	0	0
	電気・ガス・水道業	2,509	208	1,121	0	0	0	1	0	0	0	1		0	1	0	0	8	11	1,159			0	0	0	0
	電気業	1,682	208	298	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	8	8	1,159			0	0	0	0
	ガス業	0		0				0																		
	熱供給業																									
	上水道業	60		59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1							
	工業用水道業																									
	下水道業	767		764	0	0	0	1	0	0	0	1		0	0	0	0	2								
	情報通信業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	運輸業・郵便業	8		0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3							
	卸売業・小売業	7	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金融業・保険業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不動産業・賃貸業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	専門サービス業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宿泊業・飲食業	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活サービス業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1								
	教育・学習支援業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療・福祉業	9	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	複合サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービス業	164	2	29	10	2	3	35	1	40	1	2		0	8	15	2	0	1	1		2	0	12	0	10
	公務	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	20	2	6	0	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	2	2	2	1	1						

統計表2 排出量及び処理量(種類別)[令和5年度](その1)

区分	発生量		有償物量		保管		排出量		自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量									
	(A) (B+Z1+C)		(B)		(Z1)		(C) (D+G)		(D)		(E)		(E1)		(E2)		(E3)		(E4)		(G)		(G1)		(G2)		(G3)		(H) (I+K+J)		(I) (E2+G2)	
	7,077		119				6,958		3,061		439		287		34		118				3,897		15		236		3,646		4,034		270	
合計	257	5		252	1	1		0													251	4	34	213	247	34	34					
燃え殻	2,965	71		2,895	57	2,501		231	96	34	101										128	0	128	263	34	34						
汚泥	30	1		29	1	1															28	0	27	27	27							
廃油	14	0		14	0	0		0	0	0											12	0	12	12	12							
廃酸	82			82	47	16	29	1	0	1											34		34	35								
廃アルカリ	244	0		244	60	10	25	28	27	1											184	3	0	181	182	0	0					
廃プラスチック類	9	2		7	1	0		1	1	0											6	0	6	6	6							
紙くず	344	0		344	11	1	0	9	8	1											334		334	335								
木くず	4			4	0	0		0	0												4		4	4	4							
繊維くず	16			16																	16		16	16	16							
動植物性残さ																																
動物系固形不要物																																
ゴムくず	0			0																	0		0	0	0							
金属くず	34	7		27	0	0		0	0												27	4	0	23	23	0	0					
ガラス陶磁器くず	160			160	6	0	0	6	6												154	1	1	152	153	1	1					
鉱さい	103	1		102	18	18		18	12												84		84	90								
がれき類	1,370	1		1,369	118	2	116	114	20												1,251	3	2	1,247	1,250	2	2					
ばいじん	1,236	32		1,203	20	0	20	20	20												1,183		199	984	1,183	199	199					
13号廃棄物																																
動物のふん尿	7			7																	7		7	7	7							
動物の死体	1			1																	1		1	1	1							
その他	203	0		203	10	0	8	1	193												193		193	200	200							
感染性廃棄物	6			6																	6		6	6	6							
混合廃棄物	197	0		197	10	0	8	1	187												187		187	194	194							

統計表2 排出量及び処理量(種類別)[令和5年度](その2)

(単位:千t/年)

種 類	区分委託処理量		委託処理量の内訳		委託中間処理量		委託中間処理後量		再生利用量		最終処分量				
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E+G+M1)	(Q) (I+O+M2)			
			県内	県外		うち焼却 量	うち焼却 量		保管量 (Z3)	再生利用量 (M1)			最終処分量 (M2)		
			(O)	(O)											
(O+L)	(O)	(L)	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	(Q1)	(Q3)			
合計	3,764	266	261	4	3,498	2,282	236	1,216	433	3,060	2,965	94	630	270	360
燃え殻	213	31	31		181	94	87	86	155	153		1	67	34	33
汚泥	229	23	22	0	206	112	94	30	119	106		13	70	34	36
廃油	27				27	15	10	12	5	10		0	10		0
廃酸	12				12	3	2	9	1	3		0	3		0
廃アルカリ	35				35	9	7	25	15	2		0	1		0
廃プラスチック類	182	13	12	1	169	115	13	54	7	148		34	144	0	47
紙くず	6	0	0	0	6	5	0	2	0	5		1	5		1
木くず	335	1	1		334	274	13	60	13	300		8	300		9
繊維くず	4				4	3	0	1	0	3		1	2		1
動植物性残さ	16	0	0	0	15	14	1	2	0	15		0	15		1
動物系固形不要物															
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
金属くず	23	0	0	0	23	20	0	3	0	22		1	26	0	1
ガラス陶磁器くず	152	18	16	2	134	115	0	19	1	133		14	126	1	32
鉱さい	90	9	9		80	18		62	12	79		0	92		9
がれき類	1,248	27	27	0	1,221	1,181	0	40	0	1,216		10	1,323	2	37
ばいじん	984	133	133		851	113	0	738	262	744		0	764	199	133
13号廃棄物															
動物のふん尿	7				7	7	0			7		0	7		0
動物の死体	1				1	0	0	1		1		0	1		0
その他	200	9	9	0	191	184	73	7	1	98		11	89		20
感染性廃棄物	6				6	5	0	0	0	1		0	0		1
混合廃棄物	194	9	9	0	185	178	67	7	1	98		10	89		19

統計表3 排出量及び処理量(業種別)[令和5年度](その1) (単位:千t/年)

業種	発生量		有償物量		保管量		排出量		自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量	
	(A) (B+Z1+C)	(B)	(Z1)	(C) (D+G)	(D)	(E)	自己中間処理後量		自己未処理量		自己最終処分量		自己未処理量		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	自己最終処分量			
							うち焼却 量	汚泥脱水 減量	(E1)	(E2)	(E3)	(Z2)	(G)	(G1)			(G2)	(G3)	(H)	(I)
合計	7,077	119		6,958	3,061	439	287	34	118	3,897	15	236	3,646	4,034	270	270				
農業・林業	12			12						12			12	12						
漁業	0			0						0			0	0						
鉱業	168			168		77	90	0	0	0			0	0						
建設業	2,072	1		2,071	136	6	130	0	3	1,935	3	1	1,931	1,935	2	2				
製造業	1,937	10		1,927	1,618	86	48	34	43	309	9	7	294	377	40	40				
電気・ガス・水道業	2,616	108		2,509	1,134	14	18	71		1,374	4	228	1,143	1,442	228	228				
情報通信業	2	1		1						1			1	1						
運輸・郵便業	8			8	0		0			8			8	8						
卸・小売業	7			7						7			7	7						
金融・保険業	1			1						1			1	1						
不動産業・物品賃貸業	1			1						1			1	1						
学術研究・技術サービス業	1			1						1			1	1						
宿泊業・飲食サービス業	2			2						2			2	2						
生活関連サービス業	1	0		1		0				1			1	1						
教育・学習支援業	2			2						2			2	2						
医療・福祉業	9			9						9			9	9						
複合サービス業	0			0						0			0	0						
サービス業	218			218	4		3	1		214		1	213	215	1	1				
公務	2			2						2			2	2						

統計表3 排出量及び処理量(業種別)[令和5年度](その2) (単位:千t/年)

業種	区分委託処理量		委託処理量の内訳		委託中間処理量		委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量			
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E+G+M1)	(Q) (H+O+M2)	(Q1)	(Q3)		
			県内	県外		うち焼却量	うち焼却量		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)						
			県内	県外												
合計	3,764	266	261	4	3,488	2,282	236	1,216	433	3,080	2,965	94	3,267	630	270	360
農業・林業	12	0	0	0	12	9	0	3	0	11	11	1	11	1	1	1
漁業	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0
鉱業	0				0	0	0			0	0		90			
建設業	1,934	52	49	3	1,882	1,704	97	178	35	1,728	1,672	56	1,801	109	2	107
製造業	337	20	19	1	317	160	30	157	43	236	227	9	284	69	40	29
電気・ガス・水道業	1,214	176	176	0	1,038	204	82	834	347	887	881	6	902	410	228	182
情報通信業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
運輸・郵便業	8	2	2	0	6	5	1	1	0	5	4	0	5	2	0	2
卸・小売業	7	0	0	0	7	3	0	4	0	6	5	0	5	0	0	0
金融・保険業	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不動産業・物品賃貸業	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術研究・技術サービス業	1				1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宿泊業・飲食サービス業	2	0	0	0	2	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0
生活関連サービス業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
教育・学習支援業	2	0	0	0	2	2	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0
医療・福祉業	9	0	0	0	9	9	5	1	0	4	3	1	3	1	1	1
複合サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業	214	11	10	1	203	166	14	37	6	169	150	19	153	31	1	30
公務	2	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1

統計表 4 排出量及び処理量等の経年推移

1. 排出量 (単位:千t/年)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
合計	7,454	8,052	8,490	8,321	7,936	7,332	7,844	7,822	7,722	7,498	7,457	7,134	6,958
汚泥	3,797	3,637	3,451	3,648	3,605	3,313	3,496	3,401	3,133	3,068	3,221	3,022	2,895
がれき類	2,034	2,305	2,135	1,906	1,853	1,675	1,720	1,579	1,694	1,767	1,622	1,704	1,369
ばいじん	429	1,018	1,696	1,550	1,534	1,403	1,536	1,600	1,592	1,439	1,317	1,233	1,203
その他	1,195	1,092	1,208	1,217	944	941	1,092	1,242	1,304	1,224	1,297	1,174	1,491

2. 再生利用量(再生利用時点の種類) (単位:千t/年)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
合計	3,428	3,673	4,343	4,153	3,889	3,677	3,956	3,974	4,185	4,051	3,723	3,626	3,267
がれき類	1,993	2,233	2,070	1,847	1,803	1,635	1,672	1,536	1,652	1,723	1,561	1,665	1,323
ばいじん	213	411	1,128	1,213	1,282	1,242	1,355	1,390	1,457	1,266	1,050	951	764
燃え殻	140	438	107	158	165	184	219	255	238	219	240	187	157
その他	1,083	592	1,038	935	640	617	710	792	838	843	872	823	1,023

3. 再生利用率 (単位:%)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
合計	46	46	51	50	49	50	50	51	54	54	50	51	47
がれき類	98	97	97	97	97	98	97	97	98	98	96	98	97
ばいじん	49	40	67	78	84	89	88	87	92	88	80	77	64
燃え殻	56	66	52	76	65	68	65	71	61	67	65	64	62
その他	22	13	23	20	14	17	19	20	22	23	22	22	15

4. 最終処分量（処分時点の種類）
（単位：千t/年）

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
合計	523	962	838	682	570	471	544	572	509	512	643	615	630
ばいじん	216	607	506	338	252	161	181	209	135	172	263	281	333
汚泥	116	145	117	140	138	134	147	129	104	94	107	98	70
燃え殻	70	76	77	51	53	58	70	72	109	81	99	78	67
その他	121	134	137	153	127	118	146	162	161	164	174	158	160

5. 最終処分率
（単位：%）

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
合計	7	12	10	8	7	6	7	7	7	7	9	9	9
ばいじん	50	60	30	22	16	11	12	13	8	12	20	23	28
汚泥	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	2
燃え殻	43	34	47	23	34	31	34	29	39	32	34	36	26
その他	4	4	4	5	5	5	6	7	6	6	7	6	3